

分類 2.6.10.2-1

471.002211

郵政省
文書課

文書課長	昭和四年五月九日 發送済	淨書	校(原稿)	正(原稿)	附屬書	通
文書課發送	昭和四年五月九日 發送済	淨書	校(原稿)	正(原稿)	附屬書	通
管主	任主	昭和四年五月廿八日 附	附屬書	通		
受信	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課
人名	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課	高工組川公署事務課
件名	外國領事館及南洋領用官料	外國領事館及南洋領用官料	外國領事館及南洋領用官料	外國領事館及南洋領用官料	外國領事館及南洋領用官料	外國領事館及南洋領用官料

公 信 案

外 務 省

3.2

28 25

奉代理、為念各地稅關ニ就キ之ヲ確ナクシテ、外國領事館及商館ハ各地市場ニ及ズルニ付、輸入之代金、決テ之ヲ買入國ニ於テ行フ場合、船荷証券及自來用金目等ノ申立書ト提出スルハ、稅關トシテハ何等許有記リツシニ付、ヤ)ヲ要求スルヲナク、一般關稅ヲ徵收スルニ付、此等ノ旨、回差アリ之趣、附為申立書、此致。

外 務 省

3.2

(原議用紙乙)

文書課長

公 信 案

別紙

(原議用紙甲)

M-0537

0344

一九二九年四月九日
第一〇四九号

内閣府内務省
中央税関事務部

津波地方税関中

三月廿二日付第一一六二六号ニ付シテ
高業人民委員部極東支那ハ四月廿日付第一二八三三
號書翰ニ於テハ
各種品カ前記
領事館又ハ商會ノ常會ニ供セラル

外務省

場合ニ限リ百斤ノ化拂ヲナサズテ
船船ヲ迎テセムル

コトニ同意ヲ與ヘテ

本署前々^{手續}取進ニ依リ迎テセムル
食糧品ハ一般規定

ニ依リ税金ヲ徴收セラル

外務省

0345

M-0537

通商局

昭和四年五月拾四日接受

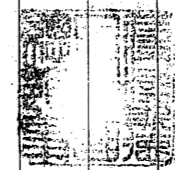
昭和四年五月七日

左浦潮斯德

總領事代理

柳雪生

外務大臣田中奏一様



人事課

通商課

外國領事館及商館用食料品
簡易通関手續ニ関スル件

本件ニ関シ今般者地高船租ヨリ別紙通り本年四月九日ヲ縣縣内外商業人民商會部
中央税関局發浦底地方税関宛公文書
ヲ送付致スルニ并為念多知税関ニ之ヲ確

在浦潮日本總領事館

又々處外國領事館及商館カ者市場
ニ拂底スル食料品ヲ輸入シ其代金ノ決
済ヲ買入國ニ於テ行フ場合所管証書カ
及自家用尤旨ノ申告書ノ提出アリハ税
関トシテハ何等許可証(リツエンギヤ)ヲ要
求スルコトナク一般関稅ヲ徵收スルニ
之ヲ通関スルニ越ナリ

宣達付

在浦潮代理大使

在岩府總領事

M-0537

0346

С. С. С. Р.
НКВ и
ТМ
Оперативный Отдел
9 апреля 29 г.
Р-10049.

ВЛАДИВОСТОКСКОЙ РАЙОННОЙ ТАМОЖНЕ.

К О П И Я .

На №-21626 от 22/3 Крайторг в письме от 5 гек.
апреля за №-52833 дал согласие на пропуск с иностранных
судов Иностранным Консульством и фирмам без уплаты валюты
непосредственно с'estные припасы, при условии, что пропуска-
емые пропускны пойдут исключительно на удовлетворение по-
требностей означенных Консульств и фирм.-
Пропускаемые в порядке настоящего письма пропускны
подлежат оплате пошлиной на общем основании.-

П О Д П И С И .

通商局

公第一八九號

昭和四年七月廿七日

在オデッサ

領事島田滋



外務大臣閣下
外務大臣閣下
外務大臣閣下

外國領事、報告美術品、
の、手、倒、り、振、振、報告、件、

本署
昭和四年十一月二十三日
公第一八九六號
報告、導、外國人、出、國、降、名、書、件、

部外私

M 2. 6. 0. 2-1

491. 202

昭和四年八月廿六日接受

M-0537

0347

手
紙

4502.5
501.5

條約局

金計係

人事課

昭和四年九月

ソヴィエト聯邦駐在外交官領事官用品
自動車等通關關係法規

歐米局第一課

外務省



歐米局第一課

(亦持紙)

送付のり居り、添付の断り取付たり。此
場、或ハ何カ物領事官に於テ何等
申出ラズカカリシテハ、何カ断り事總
テラカリシテハ、何等カ断り事總
場合、通關の事ハ不明ナルカ
迄、尚何等モ考テ、貴局、送付の事
圖中送付

中野大使

CII

M-0537

0349

目次

- 一 ソヴィエト聯邦ニ到着スル外國大、公使用品ノ通關手續
- 二 ソヴィエト聯邦ヨリ出國スル外國外交代表部長、部員ノ用品通關手續
- 三 外國外交代表部長ノ權利
- 四 酒精飲料ノ輸入
- 五 自動車ノ輸入

外務省

外務人民委員部及「オ、ゲ、ベ、ウ」ニ協議ノ上外國貿易人民委員部カー一九二五年八月十九日附ヲ以テ認可セル「ソヴィエト」聯邦ニ到着スル外國大、公使用品ノ通關手續臨時規定 (「ソヴィエト」聯邦税關規則中ヨリ)

(赤線紙)

第一條 「ソヴィエト」聯邦ニ到着スル外國大、公使館、領事館々長及館員並ニ外交旅券ヲ有シ在外「ソヴィエト」聯邦全權代表ノ外交査證ヲ有スル大、公使館ノ其他ノ者(コラボラートル)ノ用品ニシテ直接本人ノ携行(手荷物又ハ手荷物車ニ於テ)スルモノハ検査無ク又關稅、消費稅ヲ支拂フコトナク通關ヲ許サル

第二條 「ソヴィエト」聯邦駐在外國大、公使宛ニ携行セスシ

外務省

M-0537

0350

一九二八年六月
増加セラル

テ來ル用品ハ本規定第三條乃至第十三條ニ示セル條件ヲ遵守ノ上
通關スルモノトス

第三條 本規定第二條ニ示サレタル用品ハ莫斯科稅關ニ於テ検査ヲ
受ク、右用品ハ一稅關ヨリ他ノ稅關ニ未検査貨物輸送手續ニ依リ
稅關ノ保障ノ下ニ國境稅關ヨリ莫斯科ニ送ラルルモノトス

第四條 前項用品（第二及第三條）ハ各大公使館ニ付年二萬留以內
ノ額ニ對シ關稅及消費稅ノ免除ヲ受ク而シテ右用品ノ關稅及消費
稅ノ免除通關ハ外務人民委員部ノ命令ニ依リ大公使ニ送付セル特
別手帳ニ依リ之ヲ行フ右特別手帳ニハ免除セラレタル關稅及消費
稅額及手帳有効期限ヲ記入ス

附則一 手帳發給表ハ外務人民委員部之ヲ外國貿易人民委員部稅關

(赤線紙)ナ

外務省

本部ニ送付ス

附則ニ手帳ハ之ヲ全部使用スルト否トヲ問ハス之ニ記入セル期間
有效トス

第五條 外國大、公使館及領事館ノ公務ニ必要ナル印、「スタンプ
」、事務所用帳簿、公用紙、表札及國旗並ニ館員（コラポラト
ル）^正 衣服ハ制限ナク無稅~~ヲ~~通關ヲ許サル、

第六條 外國ヨリ外國大使館、公使館又ハ領事館宛ニ品物又ハ小包
到着後稅關ハ品物及品物ニ添付セラレタル書類ニ關スル記事ヲ記
入セル通告書ヲ大使館、公使館又ハ領事館ニ傳達ノ爲之ヲ直チニ
外務人民委員部若クハ其ノ地方機關ニ送付ス

第七條 外國大使館、公使館及領事館ハ到着セル品物及小包受領ノ

(赤線紙)ナ

外務省

M-0537

0351

爲代理人ヲ税關ニ派遣ス、右代理人ハ荷物證書又ハ郵便通知書並ニ到着物交付ニ關スル大使館、公使館又ハ領事館ノ書面ヲ税關ニ提出スルヲ要ス

第八條 第六條ニ記載ノ物品ノ検査ハ受領者出頭後検査書類ヲ提出スルコトナク直チニ順番外ニ之ヲ行フ、若シ税關ニ荷物到着後二週間以内ニ受領者出頭無キ場合物品ハ名宛人ノ不在中検査セラル、但シ之カ爲豫メ外務人民委員部又ハ他ノ地方機關トノ協議並ニ右協議ニ基キ税關長ノ文書命令ヲ要ス

附則、大使ノ物品検査ハ其ノ希望ニ依リ其ノ居宅ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第九條 關稅及消費稅ヲ支拂ハスシテ大使ニ交付セラルヘキ物品ニ

外 務 省

(赤線紙)ナ

對シ税關事務所費、倉庫費及布度稅ヲ課セス

第十條 検査ヲ經タル物品ニ對スル關稅及消費稅額ハ其都度稅關ノ特別帳簿及第四條ニ記載セル計算簿ニ關稅ノ殘額ト共ニ記入ス

第十一條 大使館^ハ輸入禁止品^ハ輸入ニ^ハ關シ其都度豫メ外務人民委員部ヲ經由^シ許可ヲ求ムルモノトス

第十二條 大使館宛ニ明ニ商品ト認ムヘキ荷物到着セル場合豫メ外務人民委員部ト外國貿易人民委員部ト協議ノ上ニ非レハ之ヲ交付スルコトヲ得ス

第十三條 外國大使館、公使館及領事館ノ館長以外ノ館員宛ノ物品ハ一般稅關規定及稅率ニ基キ検査^{トシテ}關稅、消費稅及其他課金ヲ支拂フモノトス、

外 務 省

(赤線紙)ナ

ソヴェイエト聯邦ヨリ出國スルソヴェイエト聯邦駐在外國
外交代表部長、部員ノ用品通關手續臨時規定

(外國貿易人民委員部ノ外務人民委員部及オ、ゲ、ペ、ウ
ト協議ノ上一九二五年八月十九日認可セラレタル臨時規
定)

第一條 外國外交代表部長及部員ノ用品ニシテ出國ニ際シ直接本人
ノ携行(手荷物又ハ手荷物車ニ於テ)スルモノハ開封セス、無檢
査且ツ關稅其ノ他ノ課金ヲ徵セララルコトナク通關ヲ許サル
同様ノ手續即チ開封セス、檢査無ク課金ヲ徵セララルコトナク外
國外交代表部及領事館ノ其他ノ館員ニシテ外國ノ外交旅券ヲ有シ
外務人民委員部又ハ其ノ地方交渉員ノ外交査證ヲ有スル者ノ自己

外務省

ノ荷物ハ通關ヲ許サル

第二條 外國外交代表部長ノ用品ニシテ本人ノ携行セサルモノハ出
國ニ當リ莫斯科稅關ニ於テ檢査ヲ受ケ外國外交代表部長ニ許サレ
タル總額ノ範圍内ニ於テ關稅ノ免除ヲ受ク、召喚ノ爲外國外交代
表部長ノ全ク離任ノ場合其ノ用品ハ本人ノソヴェイエト聯邦ヨリ事
實上出國ノ日ヨリ六ヶ月間以内ニ限り關稅ノ免除ヲ受ケ發送スル
コトヲ得

附則、外交代表部長ニ屬スル用品ノ檢査ハ部長ノ希望アル場合其
ノ居宅ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

第三條 第二條ニ記載セル用品ノ稅關檢査ハ外務人民委員部ノ特別
證明書(二通)ヲ提出ノ上莫斯科稅關ニ於テ之ヲ行フ、而シテ其

外務省

M-0537

0353

(赤穂紙)ナ

際ソヴィエト聯邦ニ到着スル外國外交代表ノ用品通關手續臨時規定第四條、第八條及第九條ノ手續ヲ遵守スルヲ要ス

附則、本則第二條、第三條ノ手續ニ依リ輸出禁制品ヲ輸出スル場

合外國外交代表部長ハ其都度外務人民委員部經由許可ヲ求ムル

ヲ要ス

第四條 本則第一條ニ示セル外國外交及領事代表部員以外ノ者ノ外國ニ送ラルル用品ハ一般税關規則及税率ニ基キ税關検査ヲ受ケ關稅及其他ノ課金ヲ支拂フヲ要ス

(一九二二年十月二十七日人民委員會議規定ニ基ク)

4.5

外務省

(赤穂紙)ト

一九二四年五月二十九日税關本局長通達第一五一號

二萬金留ノ用品受領ノ權利ハ莫斯科ニ駐在スル外國外交代表部長ニ限リ附與セラル、領事館ニハ此權利無シ

4.5

外務省

M-0537

0354

外交團員ノ爲ニ輸入スル酒精飲料ノ消費税徴收

(一九二四年五月十四日税關本局長通達第一三九號)

計算簿ヲ所有スル外交團員ノ爲ニ輸入スル酒精飲料ハ酒精一度ニ付
三十哥ノ消費税ヲ徴收セラル

(亦挿紙)

外務省

4.5

「ソヴェエト」聯邦駐在外國外交代表部用自動車輸入

ニ關スル外務、外國貿易及交通人民委員部規則

(一九二五年三月五日附税關本局長通達第五八號)

「ソヴェエト」聯邦駐在外國外交代表部ハ自己ノ需用ノ爲數ニ制限ナク總テノ式ノ自動車ヲ外國ヨリ故障無ク輸入スルノ權利ヲ有ス

ニ外國外交代表部用トシテ到着セル自動車ハ輸入税ヲ課セラルルコ

トナク當該税關機關ヨリ交付セラル右輸入税ハ當該外交代表部長

ニ提供セラレタル免除税額二萬留中ニ之ヲ記入ス

ニ輸入セル自動車ノ必要ナキニ至レル場合外國外交代表部ハ輸出税

及徴收金ヲ支拂フコトナク「ソヴェエト」聯邦ヨリ右自動車ヲ輸

(亦挿紙)

4.5

外務省

M-0537

0355

(赤神巻)ナ

出スル權利ヲ有ス、外交代表部カ古自動車ヲ「ソヴェト」聯邦ニ於テ賣却スルコトヲ希望セハ外務人民委員部經由外國貿易人民委員部ニ其許可ヲ願出スルコトヲ得、外國貿易人民委員部ヨリ許可セラレタル自動車ノ賣却ハ輸入税ヲ支拂フヲ條件トスルヲ要ス附則、右制限ハ一外交代表部ヨリ他ノ外交代表部ニ自動車ヲ賣却ノ場合ニハ之ヲ適用セス、右賣却ハ故障ナク許可セラル
四 外國外交代表部ノ輸入セル自動車ハ外國代表部ノ乗物ノ計算及監督ニ關スル訓令ノ手續ニ依リ計算セラルルモノトス

外務省

45

(赤神巻)ナ

極東地方「サハリン」管区内へ貨物ノ無許可無關稅及無消費稅輸入

(一九二六年五月七日附法令第二四七號、一九二七年九月二十七日附法令第五八六號改正)

一九二五―二六豫算年度北「サハリン」へ無關稅、無消費稅輸入ニ關スル一九二五年十一月二十四日附「ソヴェト」聯邦人民委員會議令(一九二五年聯邦法令集第八二號法令第六二四條)ヲ廢シ人民委員會議ハ左ノ通決定ス

一 極東地方「サハリン」管區へ外國貨物ノ無許可、無關稅、無消費稅輸入ハ稅關稅率委員會ノ認可セラレヘキ規定、表及規準ニ依リ許可ス

外務省

46

M-0537

0356

×本表及現單の
同ズル報告無シ

ニ酒精、穀物酒（ウオトカ）、葡萄製「ウオトカ」「コニヤク」
 及「ウオトカ」製品ヲ除キ内國産貨物ノ「サハリン」^{管区}管物領域ニ
 移入ニ際シ之等貨物ニ課セラルヘキ消費税ハ免除セラレ又既ニ支
 拂ヒタルモノハ返還セラレ或ハ將來ノ支拂ニ充テラル（本項一九
 二七年九月二十三日改正）上記貨物ノ製作ニ用ヒタル原料、半製
 品、機械及其ノ他製造用具ニ對シ支拂ヒタル關稅ハ「ソヴイエト」
 聯邦稅關規則第一六五條ニ從ヒ之ヲ返還ス

ニ本決定ニ基キ「サハリン」管區領域ニ輸入セラルヘキ貨物ノ表及
 規準ハ極東地方執行委員會代表參加ノ上毎年稅關稅率委員之ヲ審
 査ス

「ソヴイエト」聯邦人民委員會議長代理 クイブイシエフ
 「ソヴイエト」聯邦人民委員會書記長代理 ミロシュニコフ

外務省

極東地方「カムチャトカ」及「オホツク」管區ニ
 貨物ノ免稅供給手續

（一九二六年三月二日附法令第一〇一號）

「ソヴイエト」聯邦人民委員會議ハ左ノ通決定ス

一 極東地方「カムチャトカ」及「オホツク」管區ニ稅關稅率委員會
 ノ認可スヘキ表及規準ニ依リ外國ヨリ貨物ノ無許可、無關稅及無
 消費稅輸入ヲ制定スルコト

ニ本決定第一條ニ記載セル表ノ變更及追加ハ極東革命委員會ノ稟請
 ニ依リ稅關稅率委員會毎年之ヲ行フ

特別ノ場合極東革命委員會ハ稅關稅率委員會ニ報告ノ上

外務省

M-0537

0357

24

人事課

501.5

條約局

公第 1214 號

昭和四年十一月二十一日

在「ソヴィエト」聯邦

特命全權大使 田 中都 吉

外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

外交官ニ屬スル財産ノ通關手續ニ關スル

「ソ」聯邦ノ新規則ニ付報告ノ件

當國ニ於テハ外國外交官ノ携行シ又ハ其ノ宛名ニ送ラルル財産ノ通關手續ニ關シテハ外務人民委員部及聯邦「ゲ、ベ、ウ」ト協議ノ上内外商業人民委員部ニ於テ特別規則ヲ公布スルコトナリ居リ(舊關稅法



別紙添附

昭和四年十一月廿六日 接受

外務省

(イ) 第一條記載ノ表ニ表中ニ記入無キ品目ヲ追加スルコト

(ロ) 「カムチヤトカ」及「オホツク」管區^任民ノ利益ヲ害スルコトナク極東地方ヨリノ輸入ヲ保證シ得ル物品ヲ前記表ヨリ削除スルコトヲ得

「ソヴィエト」聯邦領域内ニ於テ製造セラレタル物品^品「カムチヤトカ」及「オホツク」管區ニ輸入スルニ際シ消費稅ヲ免除スルシテ既ニ支拂ヒタルモノハ返還セラレ又ハ將來ノ支拂ニ充テ^ラル

關稅關稅率委員會ハ本決定實施ノ訓令ヲ發スヘシ

「ソヴィエト」聯邦人民委員會議長代理 クイブイシエフ

「ソヴィエト」聯邦人民委員會議書記長 ゴルブーノフ

(赤 押 紙) イ

M-0537

0358

第二四二條、新關稅法第一五一條）右ハ一九二五年八月十九日附内外商業人民部ノ公布セル規則即

一、外國外交官カ外國ヨリ「ソ」聯邦ニ入ル場合其ノ財産通關手續ニ關スル暫定規則

二、外國外交官カ「ソ」聯邦ヨリ外國ニ赴ク場合其ノ財産通過手續ニ關スル暫定規則

ニヨリテ律セラレ

(イ) 外國大公使及大公使館員カ入國又ハ出國ニ際シ目ヲ携行スル財産

(ロ) 客車内ニ持込ミタ手荷物及同一列車ノ貨車ニ積込ミタル手荷物

ハ検査ヲ行フコトナク又關稅、消費稅ヲ徵收スルコトナク通關スルコト

(ハ) 大公使（館員ヲ附記セス）ノ財産ニシテ本人ト離レテ「ソ」聯邦

内へ又ハ「ソ」聯邦外へ送ラルルモノハ検査ヲ要シ其ノ關稅、消費稅ハ大公使ノ免稅額ヨリ控除スルコト尤モ大公使カ全然離任ノ

場合ハ其ノ出國後六ヶ月以内ニ限リ關稅ヲ免除スルコト

(ニ) 輸出入禁止品ニ付テハ其ノ都度外務人民委員部ヲ經テ許可ヲ取付

クルコトトナリ居リタル處今回外務人民委員部ヨリ本月十一日附

全文通牒ヲ以テ別紙甲號ノ通り全月十日ヨリ實施セラレタル改正

規則ヲ送附シ越セリ

右新規則ハ從來ノ二規則ヲ一括シ入國出國ノ場合ヲ並記網羅セルモノ

ナルモ従前規定カ外交官ノ携行スル財産ニ對シ例外ナク無検査無稅通

關ノ取扱ヲナシタルニ對シ新規定カ原則トシテ右主義ヲ認メ乍ラ備考

トシテ特殊ノ場合検査ヲ行フコトヲ得ト規定シ（第一條第二項）右檢

査ノ結果輸出入禁止品ヲ發見シタル場合又禁止品ニアラサルモ當該外

交官ノ目家用以上ノ數量アリト認メタル場合其ノ通關及徵收ハ現行法

律及命令ニ準據シテ行フコトヲ規定シタルハ重大ナル改正ト云ハサル

ヘカラス最近在當地外國外交官中往々離任出國ニ際シ在任中當地ニ於

テ安價ニ買ヒ集メタル美術品ヲ搬出スル者アリトノ趣ナレハ右改正ハ

B11

B11

M-0537

0359

九月二十四日附拙信公第三三九號ヲ以テ報告シ置キタル古代品、美術品ノ輸取出締規則ノ實施ヲ有效ナラシムル方便トシテ案出セラレタルモノト思考セラルルモ最近當國政府カ外國外交官ニ對シ從來認メ來リタル特典ヲ縮少セントスル傾向アルコトハ注意ニ値ス
右「ソ」側通牒ニ對シテハ不取敢別紙乙號ノ通回答シ置キタルモ他國關係先例等ニ鑑ミ何等申入ルル必要アラハ至急御來示相成度シ

B11

(別紙甲號譯文)

一九二九年十一月十一日附シテ第八一二號

外務人民委員部同文通牒

外務人民委員部ハ本十一月十日ヨリ施行セラレタル「外國外交代表及其ノ部員ノ携行シ若ハ右ノ者及右代表部宛テ送達セララルル荷物ノ通關規則」ヲ茲ニ送付スルノ光榮ヲ有ス
領事代表及其ノ部員ニ關シテハ今日迄施行セラレタル手續ヲ依然有效トス

B11

M-0537

0360

外國外交代表者及其ノ部員ノ携行シ若ハ右ノ者
及右代表部宛テ送ラルル荷物ノ通關規則

第一條、ソヴィエト一聯邦中央執行委員會ニ派遣セラレタル外交代表者及在ソヴィエト一聯邦外國外交代表部員ノ荷物ニシテ手荷物トシテ携帶スルカ又ハ貨車ニアル荷物ハ入國並ニ出國ニ際シソヴィエト一聯邦税關機關通過ノ場合原則トシテ税關検査ヲ免セラル但シ特殊ノ場合其ノ都度中央税關局ノ命令ニ依リ特別ノ措置トシテ前記ノ者ノ荷物ノ検査ヲ行フコトヲ得、當事者ノ希望ニ依リテハ莫斯科税關ニ於テ検査ヲ行フコトヲ得ヘシ

第二條、ソヴィエト一聯邦政府ニ派遣セラレタル外交代表者ト雖レテ其ノ宛名ニ送ラレ又ハ^{代表部}宛名ニ送ラルル荷物及手荷物ハ^{検査ニ}附セラルヘキモ本規則第四條ニ規定ノ範圍内ニ於テ關稅及消費稅ノ支拂ヲ免セラル

第三條、外國外交代表者及^{外交代表部員}以外ノ宛名ニ送ラルル荷物及手荷

物ハ一般規則及關稅定率ニ基キ之ヲ税關検査ニ附シ關稅、消費稅及其他ノ手数料ヲ徵スヘシ

第四條、第二條ニ掲ケラルル貨物及手荷物ニ付免除スル關稅及消費稅ノ金額ハ毎年商業人民委員部ノ特別ノ決定ヲ以テ之ヲ定ム右財産ヲ關稅及消費稅ヲ免除シテ通關スルニハ關稅及消費稅ノ免除額並ニ有效期間ヲ記入シアル特別免稅手帳ヲ以テス

附則、外交代表者カ關稅及消費稅ヲ支拂フコトナク引取ル貨物及手荷物ニ對シテハ倉敷料及重量稅ヲ徵セス

第五條、免稅手帳ハ外務人民委員部ヨリ外交代表者ニ對シテ交附シ儀禮部ハ交附セル手帳ノ表ヲ内外商業人民委員部中央税關局ニ通報ス免稅手帳ハ其ノ中ニ記入セラレタル期間内其ノ使用ノ程度ニ關係ナク有效トス

第六條、外國外交代表部ノ公用ノ爲必要ナル「スタンプ」、印章、事務所用帳簿、公信用紙、門標及旗並ニ外交代表者及外交代表部員ノ制

BII

BII

服ハ無税ニシテ且本規則第四條ニ掲ケラルル制限ニ關係ナク之ヲ通關ス

第七條、外交代表部ノ宛名並職務執行ノ爲初メテ「ソヴィエト」聯邦ニ着任スル外交代表部員ノ宛名ニ送ルル所謂「創立用品」即チ家具器具、食卓布等ハ検査ノ上無税ニテ通關セシムルコトヲ得但シ其ノ都度中央税關局ノ種別ノ許可ヲ要ス

第八條、外國外交代表及外交代表部員ノ出國ニ際シ右ノ者ト離レテ送ルル貨物及手荷物ハ最寄ノ税關ニ於テ検査セラルヘン前記ノ者カ全ク離任ノ場合之ト離レテ送ラルル貨物及手荷物ハ前記ノ者カ「ソヴィエト」聯邦領域ヨリ事實上出國シタル當日ヨリ六ヶ月間ニ限り關稅及本規則第四條附則ニ掲ケラル其ノ他ノ手数料ヲ免除ノ上「ソヴィエト」聯邦税關機關ヲ通過スルコトヲ得

第九條、本訓令第一、第二、第三及第八條ノ手續ニ依リ輸入禁止及輸出禁止品ヲ通關セシムル爲ニハ其ノ都度外交代表部ヨリ外務人民委

員部ヲ經テ豫メ中央税關局ノ承諾ヲ受クルコトヲ要ス

第十條、本規則第一條第二項ニ依リ行ヒタル荷物ノ検査ニ際シ輸入禁止及輸出禁止品ヲ發見シタル場合並輸入禁止品ニ非サルモ外交官ノ自用ヲ超ユル數量ヲ發見シタル場合右物品ノ通關問題若ハ之ニ對スル徵收ハ現行法律及命令ニ準據シテ解決セラルヘシ

中央關稅局長
ウイノクール
業務課長
「ミルマン」

B11

B11

M-0537

0362

別紙
寫

No. 186

L'Ambassade du Japon a l'honneur d'accuser au Commissariat du Peuple pour les Affaires Etrangères réception de sa Note du 11 courant, No.SP/812, par laquelle il a bien voulu envoyer à l'Ambassade « le Règlement concernant le passage par les établissements douaniers des bagages, accompagnés par les représentants diplomatiques étrangers et leurs collaborateurs ou des bagages, envoyés à l'adresse de ces personnes et des représentations diplomatiques. »

Ayant communiqué la teneur de la note susmentionnée au Ministère des Affaires Etrangères à Tokio, l'Ambassade se réserve le droit de faire savoir au Commissariat du Peuple son point de vue à ce sujet.

Le 22 Novembre 1920.

Au Commissariat du Peuple
pour les Affaires Etrangères.

5-02.5

外務局

本機密第一六號

昭和五年 月 廿三日

在外分館主任

外務書記生 下村未太郎

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

當分館用品ニ對スル輸入税査定額ニ關聯シ

レセハツセル發結方指示請ノ件

蘇聯邦政府カ如何ニ外國品ノ輸入妨遏ニ腐心シ居ルカハ敢テ贅言ノ要無カルヘク。從テ税関検査ノ峻烈ナル事將又關稅率ノ高率ナル事等ハ到底内地税関ノ夫レニ比スヘクモ非ス。客年當分館ニ於テ輸入シタル別表館用品價額

昭和五年正月廿五日接受

M-0537

0363

金貳千六百參拾八圓五拾錢也ニ對スル輸入税及消費税
査定額計露貨ハ千留六拾貳哥ノ如キ以テ其ノ一般ヲ窺
フニ足ル好個ノ材料タルヘク尤モ本輸入額ハ在蘇聯邦
本邦大使館ノ輸入免税額中ヨリ控除セラルル事トナリ
タルヲ以テ右税額ハ單ニ査定ニ止リ事實支拂ヒタルニハ
非ルモ他面大使館ノ輸入免税額ニハ制限アル事トテ之
ニ均露シ能ハサルヤハ假令館用品タリトモ輸入不可能ノ
状態トナル
就テハ右緩和策トシテハ今後館員赴任ノ際ニハ書記生
ニ對シテモ何等カノ名目ノ下ニ必ス在京蘇聯邦大使館
ヲシテハレセハツセ^レラ發給セシメ之ニ館用品ヲ携行セシムル
外他ニ途無キ^ニ思考セラルル儘右報告旁^ニハレセハツセ
^レ發給ニ付申廳配慮方稟請ス

本信寫送付先
在蘇聯邦 田中大使
在亞 港 佐々木總領事

M-0537

0364

品名	数量	價額	適用税率	関税	消費税	計
品名	数量	價額	適用税率	関税	消費税	計
置ラフ	四個	二〇〇	第一五條	一四〇	〇	一四〇
燈心	一結	二〇〇	第二七條	六〇	〇	二六〇
箆笥	三個	二〇〇	第六條	四二	〇	二四二
食堂椅子	一三個	一五〇	第九條	四九	〇	一九九
フエート	一個	三八〇	第六條	九〇	〇	四七〇
二重フエート	一個	一三三	第八條	四三	〇	一七六
食卓	一個	一四六	第六條	三七	〇	一八三
合計		二六三八		七三五	〇	三三九〇
		五〇		七四	〇	六二

CII

品名	数量	價額	適用税率	関税	消費税	計
品名	数量	價額	適用税率	関税	消費税	計
蠟燭	六個	一三四	第三條	九〇	〇	二二四
掛額	三面	一八〇	第九條	〇	一八〇	三六〇
絨繒	一枚	二〇〇	第二三條	六〇	〇	二六〇
金屬製掛用具	四組	四〇〇	第一三條	一六〇	〇	五六〇
木製窓中幕	四枚	六三〇	第一九條	九六	〇	七二六
窓掛用ス	四枚	〇	第一七條	〇	〇	〇
窓掛用	四枚	〇	第一七條	〇	〇	〇
果物	二函	一〇〇	第六條	四〇	〇	一四〇
日本酒	四合	七〇	第七條	〇	〇	七〇
麦酒	三打	五七	第八條	〇	〇	五七
合計		一三三〇		二二四	〇	一五五四
		〇		九〇	〇	九〇

「大」税関検査書

CII

M-0537

0365

23

入課長印

歐米二課長

5-01.5

公 信 案

別紙

文書課長

文書課發送

昭和五年壹月霧四日發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

(原議用紙甲)

主 管 條約局長

主任 條約局長

機密 第二普通

五

號

昭和五年壹月霧四日

日

附屬書

通

受信 人名

河田 大藏 次官

發信 人名

吉田 次官

件名

外交官ニ屬スル財産ノ
通關手續ニ關スル聯邦
新規則ニ關スル件

綴 名

本件ニ關シ先般在ソノ聯邦和田中大使

ヨリ別紙ヨリ通報アリタリニ付右如ク

移標スルニ關シ何等申言スルハ仰回テ

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)

相 為 度

昭和五年十一月二十日 田中大使 奉 上

以時爲申文 各方四一四号 橋本

外 務 省

M-0537

0366

5

人事課

本普通第三二號

昭和五年三月十日

在「オ」分館主任

外務書記生 下村未



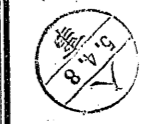
外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

會計課

兩度

4124,7764
4542.5
562,11710

當分館設備品其他購送品ニ對シ
 「ライセンス」取付並ニ無税通関方ニ關シ稟請ノ件
 館用品ニ對スル「ライセンス」取付並ニ無税通関方ニ關シテハ種々
 面倒ナル手續ヲ要スル趣ニ付甚々恐縮ニ堪ヘサルモ客年



昭和五年四月七日 接受

未漸ク大体ノ造作ヲ了シタル當分館トシテハ種々設備
 ノ必要ナル事トテ本年三月三日附本普通第三九號稟
 請ノ返送品ニ對スル代用品本年三月四日附本普通第
 三〇號稟請ノ館用品並ニ別途函館檜枝商店へ購送
 方依頼セル價額約八百圓ノ館用品ヲ輸入致度處承知
 ノ通在京通商代表ノ輸入許可証無クハ絶体ニ輸入不可
 ナルト(客年御送付ニ預リタル在京蘇聯邦大使ノ輸入許
 可依頼狀ニ對シテハ當地税関ニテ種々文句ヲ並ニ一時通関
 ヲ肯セサリシ事アリタルニ付本年ハ是非トモ在京通商代表
 ノ輸入許可証取付相煩度シ)他面輸入額ハ在蘇聯邦本
 邦大使ノ有^ル輸入免税額中ヨリ控除スル事トナラサレハ
 本年一月廿三日附本普通第六號報告ノ通品物ニ依リテハ
 價格ノ二十倍或ハ三十倍ト云フ想像モ及ハサル高率ノ税額

CH

M-0537

0367

ヲ支拂ハサルヘカラサルヲ以テ到底其負担ニ堪ヘサル次第ナル
ニ付右事情ヲ考慮ノ上前述ノ返送品ニ對スル代用品並ニ館
用品ヲ購送ノ際ハ市面倒テカラ是非在京通商代表ノ輸
入許可証並ニ無税通關許可取付方ヲ取計相煩度尤
モ樽枝商店ヘ依頼セル購送品ハ多種多様ナルヲ以テ「ライ
セン」取付ニ必要ナル明細書作成上モ市面倒ナルヘシト存シ
右ハ本年八九月ノ候間片書記生賜暇帰朝ノ予定ニ付其
後任トシテ赴任スル館員(館員赴任ノ際ハ改メテ「レセハツセ」
又ハ外交旅券ノ発給方稟請致スヘキモ右市面置相煩度
シ)或ハ其他ノ「レセハツセ」又ハ外交旅券所持者ヘ托送方依頼
致ス事ニ取計フヘキモ内宴會用トシテ在商店ヘ購送方
依頼セル日本酒並箱(一箱四合瓶四打入單價四〇圓)及麦
酒並箱(一箱四打入單價貳拾圓)ハ托送困難ナルヤニ思考

CII

セラレルニ付右ニ對シテハ本省ヲ購送品ニ對スルト在様一括
在京通商代表ノ輸入許可証並ニ無税通關許可取付方
市配慮相煩度此段稟請申進ス

CII

M-0537

0368

501.5

28

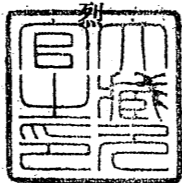
條約局

藏稅第六三〇號

昭和五年三月十三日

大藏次官 河田

外務次官 吉田 茂 殿



「ソ」聯邦ニ於ケル外交官公私用品通關手續改正ノ件ニ關シ一月二十三日附條二普通第三五號ヲ以テ御申越ノ趣了承、就テハ右新規則ニ基キ本邦ニ於ケル「ソ」聯邦外交官ノ公私用品通關取扱方ニモ相當改正ヲ加フル必要有之哉ニ存候條左記ノ諸點ニ付御回示相煩度此段及照會候也

(5.1當井納)

大藏省

大藏屬 植村 美人
大藏省主税局

昭和五年三月十四日 接受

M-0537

0369

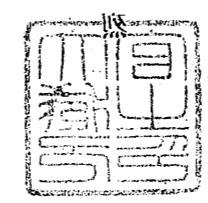
ハ必要有之結ニ符刻給込請ノ請書ニ付附回示附取返此對又照會刻書
其ニ於テハ「ハ」總共外交官ノ公用品取關取付式ニ付附當込五メ取
日附給ニ普紙案三正號ニ以テ附申取ノ取付本ノ總マハ付附取眼ニ基キ本
「ハ」總共ニ於テハ外交官公用品取關取付式五ノ付ニ關シ一月二十三

大藏大臣 吉田 英 勳

大藏大臣 西 田

昭和五年三月十三日

總共案六三〇號



總共案

昭和五年三月十三日

記

- 一、外務人民委員部同文通牒追書ノ「領事代表及其ノ館員ニ關シテハ今日迄施行セラレタル手續ヲ依然有效トス」トハ「大使カ承認スル場合大使ノ名ニ於テ其ノ免税範圍内ニ限り領事官自用品及領事館公用品ニ對シ關稅ヲ免除スル」從來ノ取扱方ヲ依然有效トスルノ意ナリヤ若シ然リトセハ新通關規則第三條ノ規定トノ關係如何
- 二、新通關規則ハ第六條ノ物品ヲ除キテハ公用品及私用品共一樣ニ之カ適用アルモノナリヤ
- 三、新通關規則第四條ニ依リ商業人民委員部ノ特別ノ決定ヲ以テ定メラレタル本年ノ關稅及消費稅免除金額及其ノ有効期間如何
- 四、新通關規則ニ依ル免税手帳ヲ第五條ノ規定ニ依リ交付スル年月日及新手續

(5.) 關稅納

M-0537

0370

四 簿面關稅帳ニ對シテ發給手續ヲ正辦シ關稅ニ對シテ交付スル手引及簿面
 五 本埠ノ關稅及附費發給金簿及其ノ發給規則帳
 三 簿面關稅帳四册ニ對シテ商業人員委員階ノ掛帳ノ次書ヲ以テ送ルモノ
 六 簿面ノ次書

二 簿面關稅帳ハ第六册ノ簿面ニ對シテ公用品及私用品共一册ニテ之ヲ發給
 簿面關稅帳帳簿三册ノ帳簿イノ關係帳
 三 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 四 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 五 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 六 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 七 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 八 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 九 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面
 十 簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面ノ簿面ニ對シテ發給手續イノ簿面

出



帳交付ノ際ニ尙舊規則ニ依ル免税手帳カ其ノ有効期間中ニシテ免税殘額
 アルトキハ之ト新免税額トノ關係如何
 五 免税手帳ニ記載スヘキ事項及之カ使用方法等ハ從來通ナリヤ若シ變更ア
 ラハ其ノ内容詳細

以 上

(5) 加納納

(6) 加納納

M-0537



27

人事課長

5015

文書課長

公信案

文書課發送 昭和五年參月拾九日發送済

淨書 (三) 正(原稿) 五年三月十五日

(原議用紙甲)ナ

主 任 主 任
 條約局長
 昭種五年參月拾九日附 附屬書 通

受信 在 軍路
 人名 田中 大使
 發信 人名 齋原 大臣

機第 一
 普通 第一
 號 昭和 昭種五年參月拾九日附 附屬書 通

本件 = 開工 客年十一月二十日附公 第四一四
 号 7 以下 申 越 了 承 依 了 早 速
 大藏省 = 移 標 致 置 タル 奉 令 般 同 者

公信案

外務省

3.2

19 9

ヨリ 別紙 寫 通照會 越 タル 付 委 由 古
 二 了 悉 上 了 政府 = 申 問 合 七 結 果
 申 回 示 相 公 度 了

三月十三日 附藏 校 了 六 三 号 高 橋 伸 一

(原議用紙乙)ナ

外務省

3.2

M-0537

0372

寫

本普通第五一號
昭和五年四月十日
外務大臣男爵幣原喜重郎殿
在オハ分館主任
外務書記生 下村未郎

本普通第五一號

昭和五年四月十日

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

在オハ分館主任
外務書記生 下村未郎

輸入ヲ許可セラルル旅客携帶品目錄送附ノ件

當地税關ノ旅客携帶品ニ對スル検査ハ昭和三年六月現税關長「クレ
ツチ エンコ」氏來任以來特ニ峻烈ヲ極メ之カ検査ニ當リテハ「ゲ、
ベ、ウ、」立會ノ上寸毫モ假借スル所無ク嚴密ナル検査ヲ行ヒ如何
ニ微細ナル品物ト雖モ密輸入ノ名ノ下ニ沒收シツツアルハ内地税關
ノ夫レト到底比較スヘクモ非ル處本年初頭ノ清黨ニ際シ現税關長「

外務省

6.11

外務省
通關
不備記

M2-6-02

クレツチ エンコ」氏ハ黨員トシテノ私的行爲ニ面白カラサリシ點ア
リタリトノ嫌ニテ遣責セラレタルコトアルヲ以テ本年ハ殊ニ辛辣ヲ
極ムルモノナカルヘク當地鑛業所ニ對シテハ特ニ別添寫ノ通旅客携
帶品目的送附越シ來レル趣ナリ

は()

外務省

6.11

M-0537

0373

許可、關稅及間接消費稅ナクシテ輸入ヲ許サルル
旅客携帶品目録

品名	數量(各名ニ對シ)	
	男	女
1 外套類 (中シューバー一枚限り)	二	二
2 帽子類 (中毛皮帽子一枚限り)	二	二
3 暖手套	一	一
4 毛皮肩掛	一	一
5 靴類	一	一
6 スリツパ (家内用)	一	一
7 襟卷又ハシヨール	二	二
8 洋服 (男子用)	二	一

外務省

6.11

は(一)

9 洋服又ハ衣服 (婦人用)	一	二
10 短上衣 (〃)	一	二
11 短上衣 (婦人用寢間衣用)	一	二
12 スカート	一	二
13 肌衣シャツ上下	六	六
14 タオル	六	六
15 長短靴下	六	六
16 ハンケチ (鼻拭用)	二	二
17 絹織物製頭巾 (婦人用)	一	一
18 ワイシャツ	三	一
19 カラー	二	二

外務省

6.11

は(一)

M-0537

0374

40	39	38	37	36	35	34	33	32	31
小兒衣服シャツ及靴 (イ乳飲兒、口其他ノ小兒)	化粧具(櫛刷毛、化粧箱其他)	剃鬚道具	白粉(壓縮セサルモノノ一五〇瓦以下) "セルモノノ五〇瓦以下 開封ノモノ	化粧石鹼(開包ノモノ)	香水(一五〇瓦以下)	オデコロン(開栓、二五〇瓦以下)	煙草ノ代リニシガー "パピロース又ハ	煙草ノ代リニシガー "パピロース又ハ	婦人用皮製袋又ハ手提靴
旅行中必要數量 成人旅客用ト同數量	旅行中必要數量	一組	一箱	二ヶ	一	一瓶	二五〇本 "五〇本	一	一
		一組	一箱	二ヶ	一	一瓶	二五〇本 "五〇本	一	一

6.11

外務省

は(ト)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
ステッキ	傘	オヴァシューズ又ハ長上靴	手袋	婦人用ジャケット又ハ胴衣	胴衣(男子用(ジャケット)) "フアイカ	毛布又ハ羅紗布	枕	敷布	ネクタイ	カウス
一	一	一	二	一	一	一	二	三	六	六
一	一	一	二	二	一	一	二	三	六	六

6.11

外務省

は(ト)

M-0537

0375

41	食料品 中粉ニセルコーヒー及ココアハ各人ニ對シニ一匁迄 罐詰類ハ各人ニ對シニ全量ニテ五匁迄 其他ハ旅行中必要數量
42	書籍、印刷セル著作物及原稿 各一部宛
43	茶沸、茶椀皿、コップスプンナイフ及フォーク 各一ケ宛
44	魔法瓶（容量ニリットル以下） 一
45	人工眞珠（糸ニ一米迄） 一糸
46	アルコール飲料 開栓ニテリットル以下
47	金、銀、白金製細工物 各人ニ對シ 以下男女共通
(イ)	鎖及王飾付時計 一
(ロ)	シガール入及タバコ入 一
(ハ)	銀製（ニ限ル）手提鞆 一
(ニ)	指輪、寶石入リング 二

外務省

6.11

(ホ)	エンゲージ 婚約リング 夫々一ケ宛
(ヘ)	腕輪、胸針 夫々一ケ宛
(ト)	耳飾 一 對
(チ)	ネクタイピン 一
(リ)	カウスボタン 一 對
(ヌ)	前ボタン 四 ケ
(ル)	金製、白金製胸飾 一 ケ
(ワ)	髪飾 一 ケ
(ヰ)	象眼 鼻眼鏡 眼鏡及柄付眼鏡 夫々二ケ以下
(カ)	ナイフ、フォーク、スプーン、コップ、皿 夫々一ケ以下
	「備考」貴金屬製細工ヲ施セル諸種ノ化粧用並ニステッキハ 旅行中必要數量ダケ携入スルコトヲ得

外務省

6.11

は(ト)

M-0537

0376

人事課



5015
大
部
長
の
印
鑑
を
用
い
た
り
と
す

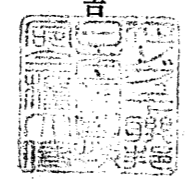
30
條約局

公第一七一號

昭和五年四月十七日

在ソヴィエト聯邦

特命全權大使 田 中 吉



外務大臣男爵 幣 原 喜 重 郎 殿

外交官ニ屬スル財産ノ通關手續ニ關スル
「ソ」聯邦ノ新規則ニ關スル件

本件ニ關シ三月十九日附條二普通第一一七號貴信ヲ以テ御訓令ノ趣
敬承依テ本月十七日館員ヲシテ外務部儀禮部長「フロリンスキー」
氏ニ問合セシメタル處左ノ如ク回答シタル趣ナリ

昭和五年五月廿二日接受
BII

48

旅客用品ノ在中スル「トランク」、箱表装具、小箱其他ハ全部
「備考」包装具ノ形態ヲ裝フ爲品物ヲ入レタル新品包装具ハ旅客
用品用小箱、箱「トランク」其他ノ包装具トシテハ無稅通
關ヲ許サレズ

税關長 クレッチエニコ

外務省

6.11

M-0537

一、領事代表及其ノ館員ニ關シ大使カ承認スル場合大使ノ名ニ於テ其ノ免稅範圍内ニ限リ關稅ヲ免除スルコト從來ノ如シ新通關規則第三條ノ場合亦同シ
二、公用品^{反私用品}共一様ニ適用アリ
三、本年度免稅額ハ六萬留ノ豫定ニシテ其ノ有効期間ハ一ケ年（本年六月一日ヨリ來年五月卅一日迄）トス
四、新免稅手帳ハ六月一日迄ニ交附ス舊規則ニ依ル免稅手帳ニ免除殘額アルモ新年度ニ繰入ル、コト無シ
五、免除手帳記載事項及之カ使用方法ハ從來ノ通り
尙當該規則ノ適用振ニ就テハ未タ該當事項發生セサル爲明確ナラサルモノアルカ（客月三十一日附機密公第一三二號拙信參照）目下外交團ノ間ニ於テ注意シ居ルハ輸出稅ハ免除額ヨリ差引クコトヲ得ヘキモノナリヤ否ヤ又美術骨董品輸出ノ際檢査料ヲ支拂フヘキヤ否ヤニ在ルカ故ニ右館員會談ノ序ニ聞キ質シタル處「フ」ハ輸出稅ハ美

BII

術骨董品ニ關スル輸出稅ノミニシテ右ハ免除額ヨリ差引クコトヲ得サルモノナリト答ヘ（該規則發布ノ當時ハ免除額ヨリ差引キ得可シトノ解釋ナリシ）且美術骨董品ニ關スル「グラヴナウーカ」（學術及藝術管理本部）ノ檢査料ハ一種ノ出張手数料ニシテ免除スルコトヲ得スト答ヘタル趣ナリ

右報告ス

BII

M-0537

0378

大蔵省

本普通第六八號

昭和五年五月廿七日

在外分館主任

外務書記生 下村 未



外務大臣男爵幣原喜重郎 殿

「ライセンス」ノ取付ヲ必要トスル品目ニ関スル件

本年三月十日附本普通第三三號ヲ以テ在京通商代表
ノ「ライセンス」取付並ニ無税通関方ニ関シ市高配ノ程願
出タル當分館設備品其他贈送品中ニハ本年三月一日

昭和五年七月廿四日 接受

CH

附本普通第二九號ヲ以テ依頼セル返送品ニ對スル代用品
或ハ本年三月三日附本普通第三〇號ヲ以テ本省へ贈送
資金市支出方稟請セル設備品等含マシ居ルヲ以テ
代用品ノ選擇後或ハ右ニ對スル本省ノ市詮議後ナラテ
ハ其品目ニ変更アルヘク掲記困難ナルモ返送品ニ對スル
代用品或ハ本省及檜枝商店へ依頼セル設備品贈送品
等ト區々ニ相成リ居リテハ本省ニ於テ在京通商代表ノ
「ライセンス」取付ニ際シ之ニ添付スヘキ明細書作成上ニモ
市不便ナランカト思考セラルル儘當方稟請通本省ニ
於テ市聴取相成ルモノト假定シ其品目一括取纏メ
市便宜ノ爲尤記ノ通掲記ス尤モ本省ニ於テ愈々「ラ
イセンス」市取付ノ際ハ代用品ノ選擇或ハ市詮議ノ結果
ニ依リ可然市取捨相成様致度右申添フ

M-0537

0379

記

一	窓掛	一三組
二	戸幕	七組
三	大「シャンデリヤ」	二個
四	小「シャンデリヤ」	四個
五	電氣「スタンド」	四個
以上本年三月一日附本普通第二九號ヲ以テ依頼セル返送品ニ對スル代用品		
六	「リノリウム」	一五〇坪
七	寢台	二個
八	金屏風	二雙
九	食堂用大型掛額	三面

CII

一〇	卓上電話機及連接轉換機	各一個
一一	邦文タイプライター	一台
一二	菊之市紋章	一個
以上本年三月三日附本普通第三〇號ヲ以テ本省へ購送資金市支出方稟請セル設備品		
一三 冷蔵庫		
一三	冷蔵庫（高サ約四尺）	一個
一四	「ラゲオ」機用品	
一	A電池（蓄電池）	二個
二	B電池（ク）	二個
三	「ラゲオ」用真空管「サイモロン」	四打
備考 △「タンガ」充電器ハ不用トナリタルニ付往電第二四號		

CII

M-0537

0380

ヲ以テ購入所見合方電請済

△A電池及B電池トモ芝田電池ナルニ付乾電池

ト御誤解無キ様為念申添フ

一五 電鈴(呼鈴) 二個

内一個ハ「オバケ」式電鈴表示器ハ室分

一六 電鈴用押扣 一打

一七 絨繯掃除器 二個

一八 木製衝立 二個

以上本年三月三日附本普通第三〇號末段ヲ以テ依頼
セル當分館實費配賦額並ニ渡切費剩餘額ヲ
以テ支辨スヘキ購送品

一九 日本酒 五箱

一箱四合瓶四打入 單價四〇圓

二〇 麦酒 五箱

一箱四打入 單價二〇圓

以上本年三月十日附本普通第三二號末段ヲ以テ稟請
セル樽枝商店へ依頼ノ購送品中一托送困難ナル為
「ライセンス」ノ取付ヲ必要トスル購送品

以上

CII

CII

M-0537

0381

人事課長

29

文書課長

公 信 案

(別紙)

(甲 號 用 紙)

5

文書課發送 昭和五年五月二十七日發送済

主 管 條約局長 任 主 任 條約三課長

機 構 第 二 普通 號 大正 昭和五年五月二十七日附

受 信 人 名 河 田 大 藏 次 官

發 信 人 名 吉 田 次 官

件 名 通関手續改正ニ関スル件

名 込 級

本件ニ関シ三月十三日附 藏 稅 第六三〇号ヲ以テ

市 野 會 一 趣 了 承 依 在 費 聯 邦 田 中 大 使

一 問 合 也 遺 夕 上 奉 今 般 日 大 使 引 別 紙 高

公 信 案

外 務 省

乙 號 用 紙 圖 納

一通回答越 己夕ニ付 右ニ仰了 玉相 承 度

田中大使 來信
昭和五年四月十七日 附 公 示 一七一号 高

係 介 一

外 務 省

5015

人事課長

29

文書課長

公 信 案

(別紙)

(甲 號 用 紙)

5

文書課發送 昭和五年五月二十七日發送済

主 管 條約局長 任 主 任 條約三課長

機 構 第 二 普通 號 大正 昭和五年五月二十七日附

受 信 人 名 河 田 大 藏 次 官

發 信 人 名 吉 田 次 官

件 名 通関手續改正ニ関スル件

名 込 級

本件ニ関シ三月十三日附 藏 稅 第六三〇号ヲ以テ

市 野 會 一 趣 了 承 依 在 費 聯 邦 田 中 大 使

一 問 合 也 遺 夕 上 奉 今 般 日 大 使 引 別 紙 高

公 信 案

外 務 省

乙 號 用 紙 圖 納

一通回答越 己夕ニ付 右ニ仰了 玉相 承 度

田中大使 來信
昭和五年四月十七日 附 公 示 一七一号 高

係 介 一

外 務 省

M-0537

0382

歐米馬

第一課

○

昭和五年十月六日

CII

本機密第一四五號

昭和五年十月廿一日

在才ハ分館主任

外務書記生 下村未



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

當地稅關大野書記生携行手荷物検査振關スル件
 當地稅關一般旅客携行手荷物ニ對スル検査振關本
 年四月十日附本普通第五一號拙信報告ノ通ニシテ
 如何ニモ峻烈ニ極ムルトハ云ヘ從來當分館館長携行
 スル手荷物ニ對シテ其多寡並ニコレツセバツセラ有無
 ニ拘ハラス無検査通關ノ特典ヲ供與シ又館員携行ノ

人事課
外交附
通商局

内附

M2.6.0.2

手荷物ニ對シテモ無検査通關ト迄ハ行カストモ通關
 上相當便宜ヲ附與シ居タリ然ルニ今回赴任セル大野
 書記生ハコレツセバツセラ所持セルニ拘ハラス携行手荷物ニ
 對スル當地稅關ノ検査振ハ全ク其ノ趣ヲ異ニシ一般旅客
 ノ携行手荷物ニ對スルト何等異ナル所無ク携行手荷物
 四十八個中手廻品七個ニ限リ嚴密ナル検査ヲ行ヒ漸ク
 通關シ函館檜枝商店訛送手荷物甲一個ハ其ノ表装
 「クルース」ナリトシ通關ヲ止ムセサル趣大野書記生ヲ海
 岸へ出迎ヘタル間片書記生ヨリ歸來報告アリタルヲ以テ
 執行委員會長不在中トテ「ケウ」隊長ヲ往訪シ之ト
 交渉ノ結果一應検査ノ上稅關ヲシテ通關セシムル事ト
 ナリ關稅モ「ケウ」隊長ハ免除セラルヘシト言明セルニ拘
 ハラス通關後稅關長ハ別紙甲號寫ノ通大野書

CII

M-0537

0383

記生、携行手荷物モ領事館宛送付越サレタル貨物ト
シテ別途「オ」九便ニ訛送セラレタル本省購送品ト共ニ
貨物明細書中ニ括併記シ開稅壹萬六千九百參
拾五留四拾九哥ヲ計上シ之ニ署名ヲ求メタル趣當分館
貨物ノ代理受領者ヨリ通報アリタルヲ以テ「レ」セハツセ
所持スル大野書記生携行手荷物ト稅關ニ於テ改メサ
ル限リ署名方拒否セシメ置キ他方「ゲ」隊長ヲ往訪
シ其ノ言質ヲ捕ヘ免稅方取計ハシメントシタルモ法規ニ依
リ免稅通關ヲ困難トスル稅關長ノ意思ハ自分限リニテ
ハ罷シ難キニ付亞港上級官廳へ稟請スヘキ旨口約シタ
ルヲ以テ當方モ在亞港佐々木總領事へ電請シ亞港蘇
官憲ヨリ當地稅關ニ對シ免稅方ニ關シ何分ノ指令ヲ
發スル様御配慮方依頼致シ置キタル處今總領事ニ

CII

於テ外務交渉員「ロ」ギノ之代ト御懇談ノ結果亞港稅
關長限リニテ本件解決困難ノ時ハ「ロ」代ハ不日全地ニ
來着スヘキ中央關稅局代表者ト協議ヲ進ムク尙解決
セサル時ハ最後ノ手段トシテ外務部ニ申スル答ナットノ
趣同電アリ次テ當分館貨物ノ代理受領者ヨリ別紙
乙號寫ノ通稅關長ヨリ今人ニ宛テ名照會文ヲ添ヘ關
稅ノ現地ニ於テ支拂ヲ或ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額ヨリ
控除スル事トナルヤ何分ノ回答ニ按シ度旨書面ヲ以テ
申越シタルヲ以テ當方ヨリ直接稅關長宛別紙丙號
寫ノ通在亞港佐々木總領事御來示之趣書面ニ認メ
同答シ置ケリ

CII

M-0537

0384

ノ取付或ハ關稅ノ現地支拂ヲ要求シ居ルハ非ス單ニ關稅ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額中ヨリ控除ス事トモ昔書面ヲ以テ回答アリ度シト申出居ルニ過キストアリカク大野書記生携行キ荷物ニ對シテモ別途「オム丸便」訛送ノ本省購送品ニ對スルトモ本省外ヨリ「ライセンズ」ノ送付越シニ接シ關稅ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額ヨリ控除スル事トナリ居ルモ(内酒及麥酒ハ購入後レタル爲ニヤ「ライセンズ」ハ記載淺トナリ居ル)斯クテハ在蘇聯邦大使ノ御迷惑ハ勿論「ロッセパッセ」所持者ニ對シ通關上ノ便宜ヲ附與セシメントスル主旨ニ及シ面白カラサル處在亞港佐々木總領事ヨリモ今地ノ交渉不結果ニ終リタ
 ル際ハ更ニ本省ヲ通シ在蘇聯邦大使ニ依頼シ「ロッセパッセ」ノ意義ニ關シ爭フ必要アルニ付最後迄書面ノ

CH

7
 6
 4
 18

回答差控ヘラレ度旨注意越々次第モアリ本件解決方ニ關シテハ此上トモ在亞港佐々木總領事ノ御高配ヲ仰ク事ト相成リ居付テハ或ハ全總領事ヨリ本件ニ關シテハ既ニ御報告済ナルヤニモ思考セラルモ重複ヲ厭ハズ本件成行何等御參考止報告申進ス

本信寫送付先

在蘇聯邦 天羽臨時代理大使
 在亞港 佐々木總領事

CH

M-0537

0385

甲野

譯文

一九三〇年九月十八日薩哈噠島「オ」日本領事分館宛汽船「オ」九三ヲ輸入セラレタル貨物ニ對スル「オ」税關ノ貨物明細書

番 号	適用 税率	品 名	數 量	重 量	價 格	關 稅	貨 物 製 産 口 名
一 第 一 項	第一〇條	密 封 織 物 製 品 袋 （ 付 ）	二 枚	二 九 〇 〇	一 〇 〇 〇	二 一 七 五 〇 〇	日 本
二 第 二 項	第二〇條	繪 畫 （ 額 付 ）	二 面	七	〇	一 〇 五 〇	〃
三 第 三 項	第三〇條	密 封 織 物 製 品 袋 （ 付 ）	三 〇 枚	三 七 一	一 〇 〇	二 七 五 一	〃
四 第 四 項	第四〇條	密 封 織 物 製 品 袋 （ 付 ）	三 〇 枚	五 〇	一 〇 〇	三 九 〇	〃
五 第 五 項	第五〇條	密 封 織 物 製 品 袋 （ 付 ）	三 〇 枚	三 一	〇	六 四 〇	〃

番 号	品 名	數 量	重 量	價 格	關 稅	貨 物 製 産 口 名
六 第 六 項	密 封 織 物 製 品 袋 （ 付 ）	二 個	六	一 〇 〇	一 五 一	日 本
七 第 七 項	鮮 魚	一 箱	三 五 九 〇	一 五 一	一 五 一	〃
八 第 八 項	日 本 酒	三 三 六 本	四 〇 三 〇	一 六 〇	四 三 七 〇	〃
九 第 九 項	麥 酒	三 三 六 本	四 〇 三 〇	八 五 一	四 三 八 〇	〃
一 〇 第 十 項	罐 詰 菓 子	五 箱	一 二 六	六 九 五	二 六 〇	〃
一 一 第 十 一 項	馬 鈴 薯	四 箱	七 一	一 四 〇	九 六	〃
一 二 第 十 二 項	ス キ	二 挺	八	二 〇	三 二 〇	〃
一 三 第 十 三 項	臺 秤	一 個	一	三 〇	四	〃
一 四 第 十 四 項	食 卓 楯 （ ク リ ヨ シ カ ）	一 卷	一	八	三 七	〃
計				六 七 七 四	一 六 九 三 五 九	

現行貨物税率表ニ依リ稅額

一五六千九百三十五留四十九哥也

CII

CII

M-0537

0386

ГРУЗОВАЯ РОСПИСЬ

寫 甲 路

ОХИНСКОЙ ТАМОЖНИ на привезенные грузы на Пароходе ОХА МАРУ в адрес Японского консульского Агентства в ОХЕ на С. Сахалине 18 Сентября 1930 года.

№	НАИМЕНОВАНИЕ ТОВАРОВ	КОЛИЧЕСТВО	ВЕС в килог- рамах	Цена в рублях		СУММА ПОШЛИН.		Страна происхо- ждения груза
				Р.	К.	Р.	К.	
1	ст. 110 и 2 Шторы из ткани в ополитованных деревянных рамках	2шт	29	100	-	2175	-	Япония
2	ст. 113 Картины на холоте вышитые шелком в ополитова- нных деревянных рамках	2шт	7кг	20	-	1050	-	Япония
3	ст. 110 и 3 Занавески из взорчатой ткани на окна	30шт	37кг	130	-	2775	-	Япония
4	ст. 110 и 2 занавески Тельные на окна цена общая	18шт	5,2 кг	---	-	390	-	Япония
5	ст. 71 принадлежности к занавескам металлические	5связ	31кг	20	-	6	40	Япония
6	ст. 25 и 2 Пилесосы дерева- ные опоривание с металли- ческими частям	2шт	6кг	10	-	15	-	Япония
7	ст. 10 Рыба свежая	1ящ	35кг	15	-	15	-	Япония
8	ст. 14 Водка Японская САКЕ	2526	359,8	160	-	4317	60	Япония
9	ст. 14 Пиво Японское 7 ящиков	3366	403,2	85	-	4838	40	Япония
10	ст. 9 Консервы Разные в гер- метической упаковке 5ящ	5ящ	126кг	69	37	1260	2	Япония
11	ст. 4 Картошка Японская	4ящ	71кг	14	64	29	28	Япония
12	ст. 25 2 Лужи деревянные	2пар	8кг	21	60	32	40	Япония
13	ст. 71 Весы десятичные	1	13,4	13	80	4	41	Япония
14	ст. 106 клеенка I сверток	12ряд	8,2	18	-	27	-	Япония

И Т О Г О 677 4116935 49

По Настоящей Грузовой описи причитается Пошлины
ШЕСТНАДЦАТЬ ТЫСЯЧ ДЕВЯТЬСОТ ТРИДЦАТЬ ПЯТЬ РУБЛЕЙ 49 коп.
/ 16,935р 49коп /

Управляющий Охинской Таможней.
/ Клетченко /

Уполномоченный по досмотру груза
Охинского консульства Японии.
/ Гр. Цуге. /

オハ税関長
クレツチエニコ
オハ日本領事館貨物検査
代理者
拓植茂雄

С. С. С. Р.
наркомторг

Б. О. П. И. 寫 乙 印

О. Х. И. Н. О. Ж. А. Я
таможня 3-го разряда
30-го Окт. 1930 г.
№ 285

Оха на Сахалине

Уполномоченному по досмотру
и приемки Консульского Груза и
Багажа

Гр. ЦУГЕ.

Охинская таможня просит сообщить таможене
как Вам и будет уплачена пошлина на месте
или же отнести ее за счет уступчивых пошлин
Японского Посольства в Москве.

Управляющий таможней.
/клетченко/

譯文

第二八五號

一九三〇年九月三十日

税關長 クレツチエニコ

領事館、貨物手荷物検査受領代理者 柘植
關稅ハ現地ニ於テ支拂 ヲ又ハ莫斯科日本大使館、
免稅額ヨリ控除セラル、モナルヤ御通知ニ接シ度
右御依頼申進ス

СП

M-0537

0388

丙野

譯文

第三〇號

一九三〇年十月三日

在オハ下村分館主任

「オハ」地方税關長「クレツケニユ」

領事館ノ貨物手荷物検査受領代理者柘植氏宛
本年九月三十日附貴翰第ニ八五號ニ對シ左記ノ通函
答スルノ光榮ヲ有ス

在オハ日本副領事館宛物品即ケ

物品名	數	量	重	單位	價	總額
屏風	一	五組	雙	五〇		一五〇
窓掛及附屬品	二	個		二〇		一〇
絨毯掃除器						

掛額

二面

七

二〇

上記物品ニ對スル關稅ハ莫斯科駐在日大使ノ免稅額ヨリ控除セラル事トナルヘク其旨今大使ハ東京日本外務省ヨリ通報濟ナリ

然ルニ「ロギン」氏ハ所持スル大野書記生ノ携行セル手荷物「個」關稅免除ニ關シテハ在亞港日本總領事佐々木代及全地外務交渉員「ロギン」氏間ニ交渉中ニ屬ス「ロギン」氏ハ佐々木總領事ニ對シ本件ハ全代並ニ亞港税關長或ハ不日全地ニ到着ス「キ」中央關稅局代表者間ニ於テ解決ヲ見ルヘク若シ然ラサル場合ハ外務人民委員部ニ上申解決ス「キ」旨約束セル趣ナリ就テハ本件解決ノ結果ニ對テハ其旨通報アルニ

CII

CII

M-0537

0389

ВИЦЕ-КОНСУЛЬСТВО ЯПОНИИ
ОХА САХАЛИН

3-го Октября 1930 г.
№ 30

К О П И Я

Управляющему Охинской Районной
Таможней

Г - ну К Л Е Т Ч Е Н К У.

В ответ на Ваше отношение от 30-го Сентября с.г.
за № 285, адресованное на имя граждан. Цуге, уполномо-
ченного по досмотру и приемке Консульского груза и багажа,
сим имеем честь уведомить Вас о нижеследующем:

Предметы, адресованные на имя Вице-Консульства
Японии на Охе т.е.

Название предметов	Количест.	Вес /в кг/	Стоимость /в иенах/
Ширмы	2	50	100
Занавеси принадлеж.	15	60	150
пылесосы	2	20	10
Картины	2	7	20

Пошлина на упомянутые предметы должна быть отнесена
за счет нормы, представленной послу Японии в Москве,
о чем сообщено последнему Мининдделом Японии в Токио.

Что касается освобождения от пошлины багажей, 41
/Сорока одного места/, последовавших одновременно с
Секретарем Оно, имеющим официальный документ, идет
переговор между Ген-Консулом Японии в г. Александровске,
г-ном Сасаки и тамошним Агентом Наркоминдела, г-ном
Логиновым. Последний дал слово первому в том, что
этот вопрос будет разрешен между ним и Управляющим
Александровской Таможней или Представителем Центрального
Таможенного Учреждения, ожидающегося на днях прибыть
туда, а в противном случае, он, г-н Логинов, обратится
к Наркоминделу в Москве за разрешением этого вопроса.

Продолжение

вопроса.

При том, вы будете поставлены в известность
о результате этого разрешения.

Примите уверение в моем совершенном
к Вам уважении

Управляющий Вице-Консульством Японии
на О х е

/Х.Симомура/

寫歐一行

人事課
人下課

分類 12.6.0.2

歌米局

澤田了

昭利五年四月六日 藤澤 記

本機密第一四五號

昭和五年十月廿一日

在才八分館主任

外務書記生 下村未郎

實

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

當地稅關大野書記生携行手荷物検査振開スル件
當地稅關一般旅客携行手荷物ニ對スル検査振ハ本
年四月十日附本普通第五一號拙信報告人通ニシテ
如何ニモ峻烈ニ極ムルハ云ヘ從來當分館館長携行
スル手荷物ニ對シテ其多寡並ニコレツセパツセーレ有無
ニ拘ハラス無検査通關ノ特典ヲ供與シ又館員携行ノ

手荷物ニ對シモ無検査通關ト迄ハ行カストモ通關
上相當便宜ヲ附與シ居タリ然ルニ今回赴任セル大野
書記生ハコレツセパツセーレヲ所持セルニ拘ハラス携行手荷物ニ
對スル當地稅關ノ検査振ハ全ク其ノ趣ヲ異ニシ一般旅客
ノ携行手荷物ニ對スルト何等異ナル所無ク携行手荷物
四十八個中香烟七個ニ限リ嚴密ナル検査ヲ行ヒ漸ク
通關シ函館檜枝商店迄送手荷物四十一個ハ其ノ表装
「クルース」ナリトシ通關正月セサル趣大野書記生ヲ海
岸へ出迎一名間片書記生ヨリ歸來報告アリタルヲ以テ
執行委員會長不在中トテ「ケ」ウ「隊」長ヲ往訪シ之ト
交渉ノ結果一應検査ノ上稅關ヲシテ通關セシムル事ト
ナリ關稅モ「ケ」ウ「隊」長ハ免除セラルヘシト言明セルニ拘
ハラス通關後稅關長ハ別紙甲號寫入通大野書

OH

記

M-0537

0391

記生、携行手荷物モ領事館宛送付越サレタル貨物ト
シテ別途「六〇九便」訛送セラレタル本省購送品ト共ニ
貨物明細書中ニ括併記シ關稅壹萬六千九百參
拾五留四拾九哥ヲ計上シ之ニ署名ヲ求メタル趣當分館
貨物ハ代理受領者ヨリ通報アリタルヲ以テ「レッセ、ハッセル」
所持スル大野書記生携行手荷物ト稅關ニ於テ改メサ
ル限リ署名方拒否セシメ置キ他方「ゲ、ウ」隊長ヲ往訪
シ其ノ言質ヲ捕ヘ免稅方取計ハシメントシテモ法規ニ依
リ免稅通關ヲ困難トスル稅關長ノ意思ハ自合限リテ
ハ難シ難キニ付亞港上級官廳へ稟請ス（キ昔口約シタ
ルヲ以テ當方モ在亞港佐々木總領事へ電請シ亞港蘇
官憲ヨリ當地稅關ニ對シ免稅方ニ關シ何分ノ指令ヲ
發スル様御配慮方依頼致シ置キタル處今總領事ニ

CII

於テ外務交渉員「ロギン」代ト御懇談ノ結果亞港稅
關長限リテ本件解決困難ノ時ハ「ロギン」代ハ不日全地ニ
來着ス（キ中央關稅局代表者ト協議ヲ進ムク尙解決
セサル時ハ最後ノ手段トシテ外務部ニ申スル筈ナリトノ
趣同電アリ次テ當分館貨物ハ代理受領者ヨリ別紙
乙號寫ノ通稅關長ヨリ全人ニ宛テ免稅照會文ヲ添ヘ關
稅ハ現地ニ於テ支拂子或ハ在蘇聯邦之使ノ免稅額ヨリ
控除スル事トナルヤ何分ノ回答ニ接シ度旨書面ヲ以テ
申越シタルヲ以テ當方ヨリ直接稅關長宛別紙丙號
寫ノ通在亞港佐々木總領事御來示之趣書面ニ認メ
回答シ置ケリ
其後當分館貨物ハ代理受領者ヨリ通報ニ依リ當
地稅關トシテ大野書記生携行手荷物ニ對シ「レッセ」

CII

M-0537

0392

取付或ハ關稅ノ現地支拂ヲ要求シ居ルニ非ス單ニ關稅ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額中ヨリ控除スル事トナレ旨書面ヲ以テ回答アリ度シト申出居ルニ過キストアリ等々大野書記生携行手荷物ニ對シテモ別途「オム九便」訛送ノ本旨購送品ニ對スルト全様本省ヨリ「ライセン」送付越シニ接シ關稅ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額ヨリ控除スル事トナリ居ルモ(内酒及麥酒ハ購入後シタル爲ニヤ「ライセン」ニ記載洩トナリ居ル)斯クハ在蘇聯邦大使ノ御迷惑ハ勿論「ロッセパッセ」所持者ニ對シ通關上ノ便宜ヲ附與セシメントスル主旨ニ及シ面白カラサル處在亞港佐々木總領事ヨリモ全地ノ交渉不結果ニ終リタ際ハ更ニ本省ヲ通シ在蘇聯邦大使ニ依頼シ「ロッセパッセ」ノ意義ニ關シ爭ハ必要アルニ付最後迄書面ノ

CII

回答差控ヘテ度旨注意越シ次第モアリ本件釀洩方ニ關シテハ此上トモ在亞港佐々木總領事ノ御高配ヲ仰ク事ト相成リ居ルニ付「オム九便」或ハ全總領事ヨリ本件ニ關シテハ既ニ御報告済ナルヤニモ思考セエ、モ重複ヲ厭ハス事件成行何等御參考迄報告申進ス

CII

本信寫送付先

在蘇聯邦天羽臨時代理大使

在亞港 佐々木總領事

M-0537

0393

甲第

譯文

一九三〇年九月十八日陸薩哈噠島の日本領事分館宛汽船の輸入品等輸入セラルル貨物ニ對スルもの稅關ノ貨物明細書

番 号	品 名	數 量	重 量	價 格	關 稅	貨 物 製 造 國
一 第 一 條	漆 油 一 箱	一 箱	二 九 〇	一 〇 〇	二 一 七 五 〇	日 本
二 第 二 條	繪 畫 額 付	二 面	七	一 〇	一 〇 五 〇	"
三 第 三 條	漆 油 一 箱	三 〇 枚	三 七 一	一 〇	二 七 七 五 〇	"
四 第 四 條	漆 油 一 箱	三 〇 枚	九 〇	一 〇	三 九 〇	"
五 第 五 條	漆 油 一 箱	三 〇 枚	三 一 一	一 〇	六 四 〇	"

CH

番 号	品 名	數 量	重 量	價 格	關 稅	貨 物 製 造 國
六 第 六 條	漆 油 一 箱	二 個	六	一 四	一 〇	日 本
七 第 七 條	鮮 魚	一 箱	三 五	一 五	一 五	"
八 第 八 條	日 本 酒	二 五 二 本	三 五 九 〇	一 六 〇	四 三 七 五	"
九 第 九 條	麥 酒	三 三 六 本	四 〇 三 〇	八 五	四 八 三 八	"
一 〇 第 十 條	鐵 罐 詰	五 箱	一 二 六	六 九	一 二 六 〇	"
一 一 第 十 一 條	馬 鈴 薯	四 箱	七	一 四	九 六	"
一 二 第 十 二 條	又 干	二 箱	八	二	三 三	"
一 三 第 十 三 條	臺 秤	一 個	一 三	一 三	四	"
一 四 第 十 四 條	食 卓 檯	一 卷	八	一 八	三 七	"
計				六 七 四	六 九 三 五	

現行貨物稅率表ニ依リ稅額

一萬六千九百三十五圓四十九圓九

CH

M-0537

0395

ГРУЗОВАЯ РОСНИСЬ

ОХИНСКОЙ ТАМОЖНИ на привезенные грузы на Пароходе ОХА МАНУ в адрес
Японского консульского Агентства в ОХЕ на С. Сахалине
18 Сентября 1930 года.

№	НАИМЕНОВАНИЕ ТОВАРОВ	КОЛИЧЕСТВО	ВЕС в кило- грамах	Цена/в/ рублях		СУММА ПОШЛИН.		Страна происхо- дения груза
				Иен	сен	Р.	К.	
1	ст. 110 и 2 Шторы из ткани в ополитованных деревянных рамках	2шт	29	100	-	2175	-	Япония
2	ст. 113 Картины на холсте вышитые шелком в ополитова- нных деревянных рамках	2шт	7кг	20	-	1050	-	Япония
3	ст. 110 и 3 Занавески из взорчатой ткани на окна	30шт	37кг	130	-	2775	-	Япония
4	ст. 110 и 2 занавески Тельные на окна цена общая	18шт	5,2 кг	---	-	390	-	Япония
5	ст. 71 принадлежности к занавескам металлические	5связ	31кг	20	-	6	40	Япония
6	ст. 25 и 2 Пилесосы дерева- нные опорированные с метали- ческими частям	2шт	6кг	10	-	15	-	Япония
7	ст. 10 Рыба свежая	1ящ	35кг	15	-	15	-	Япония
8	ст. 14 Водка Японская SAKE	2526	359,8	160	-	4317	60	Япония
9	ст. 14 Пиво Японское 7 ящиков	3366	403,2	85	-	4838	40	Япония
10	ст. 9 Консервы Разные в гер- метической упаковке 5ящ	5ящ	126кг	69	37	1260	2	Япония
11	ст. 4 Картошка Японская	4ящ	71кг	14	64	29	28	Япония
12	ст. 25 2 Лжи деревянные	2пар	8кг	21	60	32	40	Япония
13	ст. 71 Весы десятичные	1	13,4	13	80	4	41	Япония
14	ст. 106 клеенка 1 сверток	12ряд	8,2	18	-	27	-	Япония
И Т О Г О				677	41	16935	49	
По Настоящей Грузовой росписи причитается Пошлины ШЕСТНАДЦАТЬ ТЫСЯЧ ДЕВЯТЬСОТ ТРИДЦАТЬ ПЯТЬ РУБЛЕЙ 49 коп. / 16,935р 49коп /								
Управляющий Охинской Таможей. / Клетченко /								
Уполномоченный по досмотру груза Охинского консульства Японии. / Гр. Цуге. /								

代理者
日本領事館貨物検査
税関長
クレッチェンコ
拓植茂雄

M-0537

0395

С. С. С. Р.
наркомторг

К О П И Я

О Х И Н С К А Я
таможня 3-го разряда
2-го Окт. 1930 г.

№ 285
Оха на Сахалине

Уполномоченному по досмотру
и приемки Консульского Груза и
Багажа

Гр. ЦУГЕ.

Охинская таможня просит сообщить таможене
как Вам и будет уплачена пошлина на месте
или же отнести ее за счет уступочных пошлин
Японского Посольства в Москве.

Управляющий таможней.
/клетченко/

乙
譯文

第 二 八 五 號

一九三〇年九月三十日

税關長 クレツチエシコ

領事館ノ貨物手荷物検査受領代理者 柘植

關稅ハ現地ニ於テ支拂 ヲ又ハ莫斯科日赤大使館ノ

免稅額ヨリ控除セラルモノナルヤ御通知ニ接シ度

右御依頼申進ス

СН

M-0537

0398

丙野

譯文

第三〇號

一九三〇年十月三日

在才ハ下村分館主任

才ハ地方税關長「クレツケエニ」

領事館ノ貨物手荷物検査受領代理者拓植氏宛
本年九月三十日附貴翰第二八五號ニ對シ左記ノ通函
答スルノ光榮ヲ有ス

在才ハ日本副領事館宛物品即ケ

物品名	數	量	重	價	額
屏風	一雙		單位量		一〇〇
窓簾及附屬品	一五組				一五〇
絨毯掃除器	二個				一〇

掛額	二面	七	二〇
----	----	---	----

上記物品ニ對スル關稅ハ莫斯科駐在日大使ノ免稅
額ヨリ控除セラル事トナルヘク其旨令大使ハ東京日本外
務省ヨリ通報濟ナリ

然ルニ「ロキ」氏所持スル大野書記生ノ携行セル手
荷物一個關稅免除ニ關シテハ在亞港日本總領事
任々水代及全地外務交渉員「ロキ」氏間ニ交渉中ニ
屬ス「ロキ」氏ハ任々水代總領事ニ對シ本件ハ全代並ニ亞
港税關長或ハ不日全地ニ到着スキ中央關稅局代表
者間ニ於テ解決ヲ見ルヘク若シ然ラサル場合ハ外務人民
委員部ニ上申解決スキ旨約束セル趣ナリ就テハ本件
解決ノ結果ニ對テハ其旨通報アルニ

ВИЦЕ-КОНСУЛЬСТВО ЯПОНИИ
ОХА САХАЛИН

3-го Октября 1930 г.
№ 30

Управляющему Охинской Районной
Таможенной

Г - ну К Л Е Т Ч Е Н К У.

В ответ на Ваше отношение от 30-го Сентября с.г.
за № 285, адресованное на имя граждан. Цуге, уполномо-
ченного по досмотру и приемке Консульского груза и багажа,
сим имею честь уведомить Вас о нижеследующем:

Предметы, адресованные на имя Вице-Консульства
Японии на Охе т.е.

Название предметов	Количество	Вес /в влг/	Стоимость /в иенах/
Ширмы	2	50	100
Занавеси с принадлеж.	15	60	150
пылесосы	2	20	10
Картины	2	7	20

Пошлина на упомянутые предметы должна быть отнесена
за счет нормы, представленной послу Японии в Москве,
о чем сообщено последнему Мининдзиделом Японии в Токио.

Что касается освобождения от пошлины багажей, 41
/Сорока Одного места/, последовавших одновременно с
Секретарем Оно, имеющим официальный документ, идет
переговор между Ген-Консулом Японии в г. Александровске,
г-ном Сасаки и тамошним Агентом Наркоминдела, г-ном
Логиновым. Последний дал слово первому в том, что
этот вопрос будет разрешен между ним и Управляющим
Александровской Таможенной или Представителем Центрального
Таможенного Учреждения, ожидающегося на днях прибыть
туда, а в противном случае, он, г-н Логинов, обратится
к Наркоминделу в Москве за разрешением этого вопроса.

Продолжение

вопроса.

При том, вы будете поставлены в известность
о результате этого разрешения.

Примите уверение в моем совершенном
к Вам уважении

Управляющий Вице-Консульством Японии
на О х е

/Х.Симомура/

歌本局

第一〇三三

昭和六年二月十日

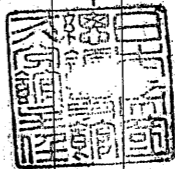
機密

本機密第二四號

昭和六年二月十日

在オハ分館主任

外務書記生下村未郎



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

「レッセパッセ」ノ効力取極ニ關シ御配慮方稟請ノ件

當分館在勤大野書記生ハ客年九月赴任、際在京蘇聯
邦大使「レッセパッセ」ヲ所持セルニ拘ハラス當地稅關ハ令書記
生携行手荷物ニ對シ四十八個中手廻品七個以外ハ其ノ表
装「ダリス」ナリトシ通關ヲ背セス漸ク「ゲペウ」隊長ノ斡旋ニ
依リ通關セルモ關稅ハ在蘇聯邦大使ノ免稅額ヨリ控除方

通商局

人事課

CII

申出タリ然ルニ當方トシテハ在蘇聯邦大使ノ御迷惑ヲ考慮セ
サルヘカテサルハ勿論「レッセパッセ」所持者ニ對シ通關上ノ便宜ヲ供與
セシメントスル旨ニ反シ面白カラサルニ付在亞港佐々木總領事ニ
對シ免稅方ニ關シ御配慮方電請セル處幸ヒ令總領事ニ
於テモ本件ニ關シテハ大ニ關心セラル所アリ「レッセパッセ」ノ意
義ニ關シテハ飽迄抗爭、必要アル所以御申越相成リ引續
キ令總領事ニ於テ御高配中ナル趣ハ客年十月二十日附本
機密第一四五號拙信報告ノ通ナルカ最近接受セル令總
領事ヨリノ電報ニ依レハ

外務交渉員「ロギ」氏ハ令總領事ニ對シ關稅ハ在蘇
聯邦大使ノ免稅額ヨリ控除スル事トシ荷物ハ速刻交
付スヘキ旨亞港稅關長ト連名ニテ電報スヘク又在京
蘇聯邦大使「レッセパッセ」ヲ所持セル大野書記生ノ手

M-0537

0401

別紙に事
情あり
本署より
要スヘキ
通商手帳
ヲ授ケル
事
モ別紙ニ
示スル
様
ニ
依
ル
事
ト
ス

荷物ヲ検査セルニ對シテハ別ニオハ税關へ書面上ノ指示ヲ與フ
ヘシトス

云々トアリ依然「レツセパッセ」ノ意義ニ付テハ深ク多ク子シ居ラ
サルニ付此ノ儘ニテハ再應此ノ種事件ヲ繰返スル無キヲ保シ
難キニ依リ何等御參考迄當地税關ノ「レツセパッセ」取扱振
ニ關シ本官ノ心付キタル儘ヲ左記ノ通添申シ此ノ際本省ニ於
テ「レツセパッセ」ノ効力ニ關シ在京蘇聯邦大使館トノ間ニ徹底
的ノ御取極御取運相成様致度此段稟請申進ス

記

在京蘇聯邦大使ノ發給スル「レツセパッセ」ニ「税關並ニ國
境蘇官憲ニ對シ「レツセパッセ」持參人ニ國境通過ノ際有
ユル便宜ヲ與ヘ「レ」事ヲ依賴スル旨記載シアル而已ニテ「通
關上ノ便宜」或ハ「無検査通關ノ便宜」ト特記無キ爲當

CII

地稅關ニテハ「レツセパッセ」ヲ一種ノ依賴狀ト心得其ノ効力ヲ輕
視スル傾向アルニ付若シ在京蘇聯邦大使ヲシテ有ユル便宜
ノ代リニ「無検査通關ノ便宜」ト書換ヘシムル事ヲ得ハ「レツセパ
ッセ」ヲ有意義ナラシムル上ニ最善ノ方法ナラスヤト思考ス
尤モ當地稅關タルトケペウタルトヲ問ハス外交旅券ニ對シ
テハ絶對効力ヲ認メ居ル次第ナルニ付物資欠乏ノ蘇聯邦
ニ赴任スル在京蘇聯邦公館員ニ對シテハ書記生ニ對シテモ前
領事以上ニ對スルト合様本省ニ於テ外交旅券ヲ發給シ在
京蘇聯邦總領事館ノ外交査證ヲ取得タル事ニ御取極
出來得レハ自然「レツセパッセ」ノ効力問題ニ關スル御取極ハ其
ノ必要無キ事トナル次第ナリ

本信寫送付先 在蘇聯邦 廣田大使
在亞港 佐々木總領事

M-0537

0402

寫

原案(1.3.0.2-1)

蒙奉天總領事

旋傳

該事(鴨綠江分館)

ニテ

(分類) 42.2.01-3-4

帽兒山ニ領事館出張員派遣ノ件

高裁案

擬ニ在奉天船津總領事稟請(大正十三年十二月二日附機密公第五二一號奉天來信)ニ基キ在奉天總領事館管內興京及在安東領事館管內帽兒山(臨江縣所在地)ニ各領事分館設置方ニ關シ大正十四年度ヨリ之ヲ實施スヘク詮議ヲ進メタルモ同年度豫算ノ關係上共ニ其運ニ至ラザリシモノナル處右ノ内帽兒山ハ該奉天總領事調查書(在安東領事ノ調査ニ依ル)ノ如ク邦人ノ在留者ハ極メテ僅少ナルモ鮮人ノ移住者五萬(其分擔セシメムトスル輯安、臨江、長白三縣合計)ヲ越ヘ且鴨綠江上流ニ於ケル彼我通商貿易ノ要衝ニ當リ是等ノ保護上我公館設置ノ必要アルノミナラス豫テ朝鮮國境ノ安寧ヲ維持スル爲

外務省

三件名
手前
外務省
出張員
派遣
案
添
紙

(添付紙)

總督府ニ於テモ輯安及寬甸ノ二ヶ所ト共ニ我軍艦ノ設置ヲ希望(大正十三年七月十一日付官秘第二一號總督來信)シ居ル次第ナルカ豫算ノ關係上急速實現ノ運ニ至ラサルヘキヲ以テ差向キ大正十四年度ヨリ右帽兒山ニ在安東領事館ノ館員ヲ派遣シ之ニ臨江、長白及輯安ノ三縣ニ關スル事務ヲ取扱ハシメ機ヲ見テ分館又ハ出張所ヲ開設スルコトト致度之ニ要スル職員ハ可成朝鮮語ヲ解シ若クハ朝鮮人ノ事情ニ通スル外務書記生ヲ以テ之ニ充テ其補助者トシテ支那語ニ通スル本省警部又ハ警部補一名ヲ附スルコトトシ(豫算及人員ノ都合ニ依リ更ニ本省巡查又ハ巡捕ヲ配置スルコトアルヘシ)孰レモ在安東領事館ニ當該職員ヲ増員スルコトト致度

外務省

M-0537

關シテハ安東ニハ本省警察官ノ配置ナキヲ以テ通化ノ例ニ依ルノ同
様トシ此外駐在ニ要スル諸經費、區内出張月額旅費及月額機密費（
在外鮮人關係機密費支辨）ヲ配給スルノ要アルモノト認ム
尙本案實行ニ當リテハ左記各項ヲ考慮ニ加フルノ要アルヘシ
右仰高裁

記

對支關係

從來ノ例ニ徵スルニ支那側ハ商埠地又ハ開放地以外ノ地域ニ於ケ
ル我公館ノ新設又ハ公館員ノ駐在ニ對シテハ或ハ何等カノ抗議ヲ
爲スナキヲ保シ難キニ付本案出張員派遣ニ關シ豫メ其承認ヲ取付
クルカ如キハ不得策ナルヘキヲ以テ派遣ト同時ニ在安東領事ニ於

外務省

(赤棒紙)ト

6.3

テ同地支那官憲ニ對シ右館員出張ニ付便宜供與方照會スルコトト
致度

對朝鮮總督府關係

(一)同府ハ在留鮮人保護ノ必要ヨリモ寧ロ當面ノ問題トシテ國境警
備ノ急ニ迫マラレ其被害ノ最多キ地方ノ對岸タル輯安及寬甸ノ
二縣ニ分館ヲ又帽兒山ニハ差當リ管轄領事館ノ警察官出張所ヲ
置キ機ヲ見テ分館ニ昇格方ヲ希望シ居ルモ敍上諸般ノ實狀ニ鑑
ミ帽兒山ヲ以テ其ノ第一順位ニ置キ差當リ出張員ヲ駐在セシム
ルコトト致シ度

(二)在間島及安東ノ總領事及領事ハ朝鮮總督府事務官ヲ兼任セシメ
得ルコトトナリ（大正元年勅令第四八號）從來實行中ナルカ同

外務省

6.3

(赤棒紙)ト

M-0537

0404

(赤押紙)

府ハ右兼任ノ例ニ倣ヒ帽兒山出張員ニ對シテモ同府職員兼任方申出アルヘキ哉ニ思考セラルル處此點ハ實際上ノ便否其他事情ノ如何ニ依リ諾否ヲ決スルコトト致度

(三)同府ハ圖們江岸勤務同府警察官ノ例ニ倣ヒ鴨綠江岸勤務員ニモ同様本省警察官兼任方ヲ希望シ居ル行懸アリ今回帽兒山ニ出張員ヲ派遣スルニ至ラハ再ヒ該問題ヲ提議シ來ルヘキ哉ニ思考セラルル處本件ハ圖們江岸ト事情同一ナラサルモノアリ遽ニ同意シ難キモノト認メラル

對關東廳關係

關東廳ハ是迄安東警察署ヨリ長白及輯安(他ニモ有之モ)ニ警察官(外務省兼官トシテ)ヲ派遣シ居ル處是等ハ當然本省系ノ警察

6.3

外務省

(赤押紙)

官ニ引直スヘキモノト思考スルニ付可成最近ノ機會ニ於テ之カ實現ヲ期シ度モ是亦豫算其他ノ關係上急速ノ運ニ至ラサルヘキヲ以テ差當リノ措置トシテ是等同廳ノ警察官ハ其職務ニ關シ帽兒山出張員ノ指揮監督ニ服セシムルノ要アリト認メラルルニ付同廳ニ對シ本省ヨリ此旨通告シ置クコトト致シ度

對朝鮮憲兵隊司令部關係

朝鮮憲兵隊司令部ハ大正四年九月以降對岸惠山鎮憲兵分隊ヨリ長白ニ下士以下數名ノ憲兵ヲ駐在セシメ尙ホ通信聯絡ノ爲同所ヨリ鴨綠江ヲ橫斷シテ惠山鎮憲兵分隊ニ軍用電話(距離約二十町)ヲ架設シ居レリ右憲兵ノ駐在ハ大正四年長白ニ馬賊來襲シ同地採木公司分局勤務ノ邦人二名ヲ拉去シタル事件アリタル當時之力奪還

6.3

外務省

M-0537

0405

並在留邦人保護ノ爲臨機ノ措置トシテ對岸ヨリ憲兵ヲ派シ同公司
社宅ノ一部ヲ提供シテ駐在セシメタルニ始マリ爾來今日ニ及ヒタ
ルモノナル處右ハ安東領事ノ意見ニ徵スルモ機ヲ見テ撤廢ヲ可ト
スル趣ナルヲ以テ帽兒山出張員派遣ニ付對支關係ニ甚シキ面倒差
起リタル場合一種ノ交換條件トシテ之ヲ撤廢スルモ一策ナルヘシ
但シ右軍用電話ハ今日ニ在リテハ兩地在任重ナル官民ニ使用ヲ許
シ居リ事實上ハ自他共ニ便益ヲ受ケツツアルヲ以テ該電話ニ關ス
ル解決ハ憲兵ノ撤廢ト切離シ別ニ考慮スルコト可然哉ニ思考スハ
支那側ハ兩者一併撤廢ヲ要求マリ)

6.3

外務省

(赤棒紙)ト

旨ヲ含ミテ言明セリ

(大正十四年一月廿七日來省坪上亞細亞局第二課長ニ對シ)

6.3

外務省

(赤棒紙)ト

M-0537

0406

(分類 M2.610.2)



「ソ」聯邦ニ赴任スル本邦書記生ノ無稅通關方ニ關スル件

昭和六年三月十二日 歐米局第一課調

「ソ」聯邦關稅法(註一)ニ依レハ「ソ」聯邦ニ入國スル外國書記生ニシテ外交旅券ヲ有シ且在在外「ソ」聯邦全權代表ノ外交査證ヲ有スルモノハ無稅通關ヲ許可セラルルコトトナリ居レル處同國ニ於テハ從來外國ニ赴任スル同國書記生ニ對シテハ外交旅券ヲ發給シ居ラス從テ同國ニ赴任スル本邦書記生ニ對シテモ在本邦「ソ」聯邦領事館ニ於テ外交査證ヲ與フルヲ拒ミ居リ(註二)爲ニ本邦書記生ハ入露ニ際シ關稅ヲ支拂フコトトナリ居レリ
然ルニ「ソ」聯邦ニ於ケル物資ノ缺乏、同國關稅ノ高率ナルコト等ノ事情ニ依リ「ソ」聯邦ヲシテ同國ニ赴任スル本邦書記生ニ對

記録係
昭和六年三月十二日
歐米局第一課調
書記

(赤符紙)

外務省



(赤符紙)

シ無稅通關ヲ許可セシムルヲ得ハ多大ノ便宜アルヘキ處一方今般下村分館主任報告ニ見ルカ如ク在本邦「ソ」聯邦大使館ヨリ同國ニ赴任スル本邦書記生ニ對シ發給セシムル「レッセパスセー」ノ效力問題ニ關聯シ從來通關上種々紛議ヲ惹起シタルコトモアリ旁々此ノ際書記生ノ無稅通關ニ關シ日露兩國間ニ何等カノ協定ヲ結ビ置クコトハ各種ノ點ニ於テ便宜多キヤニ思料セラルル次第ナルカ「ソ」聯邦側ヲシテ此ノ種協定ヲ結ハシムルニハ自然之ヲ相互條件ノ下ニ爲スノ必要アルヘキ處本邦關稅定率法(註三)ニ依レハ領事並領事館員ニ對シテハ無稅通關ノ特典ヲ與ヘ居ラス從テ右關稅定率法ヲ改正セサル限り相互條件ノ下ニ此ノ種協定ヲ結フコトハ事實不可能ナリ他方本邦ニ來任スル「ソ」聯邦ノ多數書記生

外務省

M-0537

0407

ニ對シ一々無稅通關ヲ許可スルコトハ宣傳取締ノ點ヨリ見ルモ多
少ノ不便ヲ伴フコトアルヘク此等諸種ノ事情ニ依リ「ソ」聯邦ト
此ノ種協定ヲ結フコトハ事實甚々困難ナルカ如シ
「依テ「ソ」聯邦ニ赴任スル本邦書記生ニ對シテハ實現甚々困難ナ
ルヘキモ其ノ旅券ニ對シ在本邦「ソ」聯邦機關ヲシテ外交査證ヲ
爲サシムルカ乃至ハ特ニ無稅通關ノ旨記載シアル「レッツセーパツ
セー」ヲ發給セシムルカ二者其ノ一ヲ選フノ外ナカルヘシ

(赤梓紙)ト

外務省

(註) 一九二五年八月十九日附ヲ以テ「ソ」聯邦外國貿易人民委員
部ノ認可シタル「ソ」聯邦ニ到着スル外國大、公使用品ノ
通關手續臨時規定』(「ソ」聯邦關稅法第二四二章)

(赤梓紙)ト

第一條左ノ如シ
「ソ」聯邦ニ到着スル外國大、公使館、領事館館長及館員
並外交旅券ヲ有シ在外「ソ」聯邦全權代表ノ外交査證ヲ有
スル大、公使館ノ其ノ他ノ者(「コラポラトール」)ノ用
品ニシテ直接本人ノ携行(手荷物又ハ手荷物車ニ於テ)ス
ルモノハ檢査無ク又關稅、消費稅ヲ支拂フコトナク通關ヲ
許サル

因ニ右第一條中領事館員トハ「ソ」聯邦用語例ニ從ヘハ副領

外務省

M-0537

0408

事以上ヲ指スモノニシテ本邦ノ書記生ハ「コラボラトール」
中ニ含まルモノナリ

(註二) 「ソ」聯邦ニ於テハ査證ニ外交査證ト然ラサルモノトアリ
而シテ同國ニ於テ外交官トシテノ待遇ヲ受クル爲ニハ本國ノ
外交旅券ヲ有スルト共ニ「ソ」聯邦側ノ外交査證ヲ取付クル
ヲ要ス本邦ニ於テハ書記生ニ對シテモ外交旅券ヲ發給シ居レ
ル處「ソ」聯邦側ニ於テハ之ニ對シ外交査證ヲ與ヘス從テ本
邦書記生ハ「ソ」聯邦ニ於テ外交官ノ待遇ヲ受ケ居ラサル次
第ナリ他方本邦在外機關ノ與フル査證ハ總テ一様ニシテ特ニ
外交査證ナルモノナキ處「ソ」聯邦ニ於テハ一九二五年六月
五日附「ソ」聯邦入國及出國規定ニ依リ同國ノ書記生ニ對シ

外務省

(赤穂紙)

テハ外交旅券ヲ發給セサルコトトナリ居リ從テ同國ノ書記生
ハ本邦ニ於テ外交官ノ待遇ヲ受ケ居ラサル次第ナリ

(註三) 本邦關稅定率法(明治四十三年四月十五日法律第五十四號)
第七條ニ依レハ無稅通關ヲ許サルヘキモノハ在本邦大公使及
同館員ノ自用品竝大公使館及領事館ノ公用品ニシテ領事竝領
事館員ニ對シテハ右特典ヲ與ヘサルコトトナリ居レリ

外務省

M-0537

0409

人事課

通商局

文書課

本普通第八五號

昭和六年五月二十八日

在亞港

總領事佐々木靜吾

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

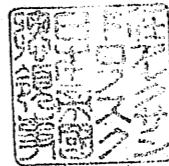
「レッツセーパツセー」ノ效力確メ方ニ關スル件

本件ニ關スル在「オハ」下村分館主任發貴大臣宛本年二月十日附本
機密第二四號公信寫本月二十四日接到(延着)セル處客年十月二十
一日附同分館主任發貴大臣宛本普通第一四五號「大野書記生携行ノ

昭和六年五月拾九日接受

別紙添附

BI



BII

手荷物検査振ニ關スル件」中同書記生カ「レッツセーパツセー」ヲ有
スルニ拘ラス携行手荷物四十八個中手廻品七個ニ限り嚴重ナル検査
ヲ行ヒタリトアルハ「レッツセーパツセー」普通ノ意義ヲ没却シ其取
扱價例ニ反シ頗ル不都合ナリト考ヘラル、ニ付此點ニ關シ「レッツセ
ーパツセー」ヲ發給セル在本邦蘇聯邦大使館ニ對シ前顯ノ事實ニ基
キ説明ヲ求メ若シ先方ニ於テ「オハ」税關吏ノ所置不適當ナルヲ肯
セサルニ於テハ同大使館ノ發給セル「レッツセーパツセー」ハ如何ナ
ル程度迄效力ヲ有スルモノナリヤヲ承知シ置ク事蘇聯邦内ニ在勤ス
ル帝國公館員ノ等シク承知シ置クコトヲ希望スル所ナリト思考ス尤
モ前記大野書記生カ函館ヨリ携行セル四十一個ノ貨物ニ對シテハ下
村分館主任發廣田大使宛本年三月三日附莫斯普通第七號ニ依レハ在

M-0537

0410

本邦大使館ヨリ右貨物輸入承認書ノ取付アリテ貨物トシテ輸入ス可
キ等トナリ居ルニ付此等ノ貨物ヲ「オハ」税關カ手荷物トシテ無税
、無検査ニテ通關セシメサルハ不都合ナリト云フハ稍隱當ナラサル
ヤニ考ヘラル右ノ場合ニ若シ在本邦蘇聯邦大使館ヨリ館用品輸入承
認書ノ取付ナキ時ハ「レツセーパツセー」ニ依リ簡易通關方ヲ主張
シ得ヘカリシモノト思考ス

右ハ大野書記生手貨物ノ通關ニ關ス俵私見ナルカスノ如キ實際問題
ニ遭遇シタル機會ニ於テ在「オハ」下村分館主任申出ノ如ク在本邦
蘇聯邦大使館ノ發給スル「レツセーパツセー」ナルモノカ蘇聯邦内
地官吏ニ對シテ如何ナル程度迄效力ヲ有スルモノナリヤヲ確メ置ク
必要アルト同時ニ物資缺乏ノ頂點ニアル在蘇聯邦各公館員等ノ本邦

BII

品輸入方ニ關シ何等カ便法ヲ講セラルンコト切望ニ堪ヘス
右申進ス

追而本件ニ關シテハ別添「蘇聯邦ハ於ケル外交官及領事官ニ對ス
ル關稅ノ免除」ト題スル參考文書御參照相成度シ

本信寫發送先

在蘇聯邦 廣田大使

在「オハ」 下村分館主任

BII

M-0537

0411

蘇聯邦ニ於ケル外交官及領事官ニ對スル關稅ノ免除
一、蘇聯邦稅關ノ取扱振

本邦稅關ニ於テハ免稅ノ場合ニハ無檢査通關（簡易通關）セシムル
カ如キモ蘇聯邦稅關ニ於テハ免稅ト檢査トハ嚴密ニ區別シ税金ハ法
規ノ命スル處ニヨリテ賦課セスト雖檢査ハ法規ニ規定ナキ限り「ゲ
ー、ペー、ウー、」立合ノ上嚴重ニ之レヲ行ヘリ故ニ蘇聯邦ニテハ
外交官、領事官ノ關稅免除ヲ論スルノミニテハ未タ充分ニ蘇聯邦内
ニ於ケル外交官領事官ノ特典及免除ヲ説明シ盡セリト云ヘカラス
次ニ蘇聯邦ニ於ケル外國外交官大、公使館長ニ對スル關稅免除ハ無
制限ニアラス一箇年六万留ヲ以テ限度トスルコトモ亦注意スルヲ要
ス

BII

扱蘇聯邦ニ於ケル外國外交官、領事官ニ屬スル貨物ノ通關手續法（支
文別添）ニ依ル取扱振ハ左ノ如シ

（甲）無檢査無稅通關スル場合

外交査證アル外交旅券ヲ有スル大、公使館々長館員及領事官及
領事官自身ニ携帶スル荷物一切

（乙）一ヶ年六萬留ノ稅額以内無稅通關スル場合

外國大、公使館々長ニ宛テタル貨物小包郵便ニシテ本人ノ入國
ト別個ニ到達セルモノ

（丙）大、公使館領事官公用品中左ニ記載スルニハ無稅通關セシ
ム官印（館印ヲ含ム）、雜文字印、事務所用張簿、公文用紙、

門標、國旗、制服、

BII

M-0537

0412

右ノ結果トシテ

(一)書記生、通譯生等在本邦蘇聯邦大使官館ニ於テ外交査證ヲ與ヘサルモノハ前記(甲)ノ無査査、無稅通關ノ特典ヲ受クルコト能ハス

(二)館長ニアラサル在蘇聯邦外交官領事官ハ自國品ハ大使館々長ノ承諾ナキ限り無稅輸入ヲ爲ス能ハス

(三)總領事館及領事館ニ於テハ外務省ヨリ發送スル館用品即チ備品消耗品等ニテモ前掲(丙)ニ該當セサルモノハ一率課稅セラル

二、彼我比較

帝國ノ關稅立法特ニ外交官領事官ニ對スル免稅ノ規定ハ主義トシテ相互的ナルモ兎角我稅關官憲カ他國使臣ニ對シテ敬意ヲ拂フ餘リ彼

BII

ヲ彼レニ厚キヤノ感アリ然ルニ蘇聯邦ニ於ケル本官ノ體驗ニ徵スルニ彼地官憲ハ稅關當局ニ於テ多少讓歩ノ意向アルカ如キモ立合「ゲ」・「ペ」・「ヴ」官吏ニ遠慮シ法ノ規定ヲ勵行シテ一步モ曲ケス然ルニ蘇聯邦内ニテモ我大使館所在地タル莫斯科市ノ如キ大都會ニテハ萬事不如意ナルヘキモ本官ノ任地北樺太又ハ勘察加ニ於テハ物資ノ缺乏極度ニ達シ衣食住悉ク意ノ如クナラス之ヲ我内地ニ在ル蘇聯邦外交官、總領事官カ自由ニ各種ノ物品ヲ任地ニ於テ調辨シ得ルト多大ノ相違アリ即チ彼レハ本國ヨリ衣食ノ資料ヲ購入スル必要ナキニ拘ラス我レハ之レヲ感スルコト緊切ナリ相互主義ハ本邦ト對等ノ程度ニ在ル文明國ニ於テ之レヲ首肯シ得ヘキモ京坂乃至函館地方ト亞港、「オハ」、「ペ」トロバヴロスクトノ比較ニ於テハ相互主

BII

M-0537

0413

義ハ願ル我レニ不利ナリ

三・對策

然ラハ右ニ對シ如何ナル對策ヲ講スヘキカ

(イ) 現場ノ儘ニテ極東邊境地方領事館勤務員ノ苦痛ヲ緩和セントセハ宜敷我大使館ノ有スル免稅額六万留中ヨリ幾分カラ配賦スルコトナリ此方法ハ蘇聯邦政府ニ於テ嬉シテ應スヘシ本官嘗テ我大使館在勤中外務部ノ當局ト此ノ事ニ談及シタルコトアリ本官ノ任地亞港外務交渉員ヨリモ石ノ如キ申出テアリタルコトアリ

(ロ) 若シ(イ)ノ方法ヲ不便トスルナラハ領事官自用品及公用品ノ相互免稅ノ交渉ヲ爲スコトニシテ之ハ別添外國外交代表者貨物ノ通關手續ニ關スル假規則ノ基礎タルヘキ一九二二年ニ公布セラレタル同

BII

BII

種ノ規定中明カニ外國中特殊ノ取極メアルモノハ例外トヌル旨ヲ規定シアリタルカ故ニ相互主義ニ基ク特殊ノ規約ヲ設クルコトニ關シテハ之亦大ナル反對アリトモ思ハレス

右御參考ノ爲メ事情具申ス

昭和四年一月二十五日

在亞港(目下歸朝中)

總領事佐々木靜吾

(別紙蘇聯邦外國外交代表貨物通關手續ニ關スル假規則譯文添フ)

M-0537

0414

譯文

外務部及「オー、ゲー、ペー、ヴー」ト協議ノ上
外國貿易部ニ依リ一九二五年八月十九日公布セラ
レタル蘇聯邦ニ到着スル外國外交代表貨物ノ通關
手續ニ關スル假規則

第一條、蘇聯邦ニ到着セル外國大、公使館員及領事館々長、館員及
其他ノ外交代表ノ勤務員ニシテ在外蘇聯邦全權代表ノ外交査證ア
ル外國外交旅券ヲ有スルモノカ本人自身携帶（手荷物又ハ預ケ荷
物タルコトヲ問ハス）スル貨物ハ關稅及消費稅ヲ課スルコトナク
無檢査ニテ通關セシム

第二條、蘇聯邦ニ駐劄スル外國大、公使館長宛テタル貨物ニシテ本

BII

入ト別個ニ到着セルモノハ本規則第三條乃至第十三條ニ定メラレ
タル規定ニ依リ通關スヘキモノトス

第三條、本規則第二條ニ掲ケタル貨物ハ莫斯科稅關ノ檢査ヲ受クヘ
キモノトス國境ニ到着セン貨物ハ一稅關ヨリ他ノ稅關ニ未檢査貨
物轉送ノ爲メ定メタル手續ニ依リ稅關保障ノ下ニ國境稅關ヨリ前
記莫斯科稅關ニ發送スルモノトス

第四條、第二條及第三條ニ掲ケタル貨物ハ各大、公使館ニ對シテ
年額二萬留（一九二八年中之レヲ六萬留迄引上ケタリ）迄ノ關稅
及消費稅ヲ免除ス而シテ關稅及消費稅免除貨物ノ通關ハ免除セル
關稅、消費稅額並ニ有効期間ヲ記載セル外務部發行大、公使館長
ニ送付シアル特殊ノ計算張簿ニ依リ之レヲ行フ

BII

(註一) 帳簿發給表ハ外務省ヨリ外國貿易部關稅局ニ送致ス
(註二) 計算表ハ全部利用セルト否トニ拘ハラズ指示期間内ノミ
有效ナルモノトス

第五條、外國大、公使館、特派使節館ノ執務用必要ナル館印、雜文
字印、公用帳簿、用紙、門標及國旗竝ニ其勤務員ニ屬スル制服(譯者註、大禮服モ包含スルモノト思考ス)ハ制規ニヨラス無稅通
關セシム

第六條、外國大、公使館、特派使節館又ハ領事館宛ニ何等カノ荷物
又ハ小包カ外國ヨリ到着セルトキハ稅關ハ直チニ外務部又ハ其地
方機關ニ個數及送狀ニ關スル通報ヲ記載セル通牒ヲ送付シ之レヲ
當該大、公使館特派使節館又ハ領事館ニ轉達セシム

BII

第七條、外國大、公使館、特派使節館又ハ領事館ハ其宛名ニ於テ到着
セル荷物又ハ小包ヲ受領スル爲メ送り狀又ハ小包通知書及大、公使
館、特派使節館又ハ領事館ヨリノ荷物引取方ニ關スル公文書ヲ提
出スヘキ代表者ヲ稅關ニ派遣スヘシ

第八條、第六條ニ記載セル物品ノ検査ハ受取人ノ出頭次第直チニ檢
査書類ノ提出ヲ俟タス順番外ニ之ヲ行フ若シ貨物カ稅關到着達後
二週間内ニ受領者出頭セサルトキハ宛名人ノ立會ナクシテ之レヲ
検査ス但シ此場合ニ於テハ豫メ外務部又ハ其地方機關ノ承諾ヲ得
且ツ右ニ關スル稅關長ノ書面上ノ指令アルコトヲ要ス

(註) 大公使ニ屬スル物品ノ検査ハ希望ニ依リ其自宅ニ於テ爲
スヲ得ヘシ

BII

第九條 大公使ニ關稅及消費稅ヲ支拂フコトナク通關セシムル物品
ハ稅關事務所費、入庫稅及布度稅ヲ課セラルルコトナシ
第十條 檢査貨物ニ對スル關稅及消費稅ノ精算額ハ其都度稅關ニ於
テ特ニ備付ケラレアル帳簿並ニ第四條所載ノ計算簿ニ關稅免除ノ
殘額ト共ニ記入スヘシ

第十二條 明カニ商品ノ性質ヲ有スル貨物カ大公使館宛ニ到着シタ
ル場合ニハ外務部ト外國貿易部ト豫メ協議セル方法ニヨルニアラ
サレハ此等ノ貨物ヲ通關セシムルヲ得ス

第十三條 外國大公使館、消費稅及其他ノ諸稅特派大使館及領事館
職員中館長以外ノモノニ宛テタル物品ハ普通關稅法並ニ關稅率ニ
基キ檢査ヲ受ケ且ツ關稅、消費稅及其他ノ諸稅ヲ支拂フヘキモノ

トス

BII

BII

M-0537

0417

M-0537

0418

在浦潮日本總領事館

シタリ然ルニ當地税關長代理「ワフローモフ」ハ本官去リタル後荷
物四十個ヲ差押ヘ哈府極東税關支部ノ許可ナキ限り之ヲ引渡スコト
ヲ得スト言明シタル趣ナリシヲ以テ十日「ワ」ニ對シ彼ノ行爲ハ本
年二月十日附外國外交團及外國領事官ノ荷物通關ニ關スル規則ニ違
反スル旨指摘シ本官ノ去リタル後税關當局ノ言明ニ反シテナサレタ
ル彼ノ行爲ハ憤慨ニ堪ヘスト附言シ嚴重抗議シ速時全荷物ノ引渡ヲ
要求シタル所「ワ」ハ領事官ノ家族カ別個ニ來ル時ハ該特權ヲ有セ
スト解釋スルカ故ニ哈府ヨリ回電アル迄ハ領事館ノ保證狀ヲ提出ス
ルニ非サレハ荷物ヲ引渡スコトヲ得ス」ト自說ヲ固持シタルヲ以テ
本官ハ直ニ當地外交事務官「アイゼンシュタット」ニ對シ右ノ事實
ヲ報告シ税關當局ノ不法行爲ヲ取消シ速時荷物ヲ引渡ス様交渉シ爲

(分類M2,69,2-1)

條約局

通商局

人事課

機密第二八〇號

昭和八年八月十五日

在浦潮斯德總領事館

事務代理 坂部源



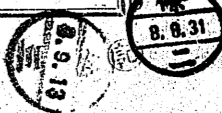
外務大臣伯爵 内 田 康 哉 殿

外國領事館ノ家族携行荷物通關ニ關スル當地税關ノ
不法取扱振ニ關シ報告ノ件

去ル九日入港ノ金剛山丸ニテ來浦セル在「ハバロフスク」總領事代
理小柳夫人ノ携行セル荷物通關ニ關シ當地税關當局ハ本官ノ面前ニ
於テ無檢査通關方ヲ容認シ其ノ大半ヲ運ヒ去リタルヲ以テ本官歸館

在浦潮日本總領事館

外交官領事官ノ特權關係
通商局長
昭和八年八月廿五日接受
到館済



念別添寫ノ通公文ヲ送付シ置ケリ。同日午後税關ハ萬一問題起ル時ハ哈府ニ於テ交渉シ其ノ解決ヲ見ル條件ニテ荷物全部ヲ引渡シタルカ領事官ノ家族カ別個ニ來ル時ハ特權ヲ有セストノ自說ヲ放棄セス甚タ不都合ナルニ付重ネテ「アイゼンシュタット」ニ嚴重說得方依頼シタルニ十五日「ア」ヨリ哈府極東税關支部ニ對シ當地税關ニ對シ本件釋明方依頼スミナル旨電話アリタリ。

右報告ス

追而當地税關ニ於テハ最近「レセバセー」ノ有無ヲ頗ル重視居リ山口總領事歸朝ノ際及小柳總領事代理夫人來浦ノ際ニモ右ノ有無ヲ切りニ尋ネ居リ又本邦ヨリ來浦セル者ニシテ「レセバセー」ヲ所持スル一般人ニハ極メテ寛大ニ携行荷物ノ無検査通關ヲ許シ居

在浦潮日本總領事館

ル實狀ナリ、而シテ反對ニ外國査證ノ有無ハ最近殆ント留意セサルカ如ク見受ケラレ其ノ態度ニ著シキ變化アルヲ見受ケラル

本信寫送付先 在「ソウエイエト」聯邦大使

在「ハバロフスク」總領事代理

在浦潮日本總領事館

M-0537

0419

公 信 案	ナルモノハ在外外交機関ニ於テ自國地方官憲	以テ御稟請ノ趣了承然ル處元来「レツセ、パツセ」	本件ニ關シ本年二月十日附本機密第二四號ト	件名「レツセ、パツセ」ノ效力ニ關スル件	受信人名 在オハ 下村分館主任	管主 歐米局長 任主 榎第一課長	昭和六年八月拾七日發送済	淨書	正校(原稿)	(原議用紙甲)ナ
				名込綴	發信人名 幣原大臣	昭和六年八月拾七日附	附屬書	通		

3.2 13 51

Komis

В. И. Д.
ИМПЕРАТОРСКОЕ
ЯПОНСКОЕ
Генеральное Консульство

Г-ну Дипломатическому Агенту Народного Комиссариата по Иностранным Делах во Владивостоке.

11 августа 1933 г.

127

Владивостокъ.
Телефон. 322-22

Милостивый Государь !

В письме своем к Вам от 7-го с/м. за №-122 я сообщал о приезде сюда 9-го числа на пароходе "Нонгосан-Мару" супруги и.д. Японского Генерального Консула в Хабаровске - г-жи Коянаги, которая и прибыла в указанное время. При чем часть груза прибывшего с г-жей Коянаги Владивостокская Таможня отказалась выпустить без досмотра. Когда по этому поводу обратился к временно Управляющему Таможней г-ну Вахмарову, то последний ответил мне, что льготные правила ввоза груза и багажа, предоставленные лицам, возглавляющим иностранные консульства не распространяются на членов их семей.

Таковые действия Таможни я считаю неправильными в корне, т.к. в ст. 7 "Правил пропуска грузов и багажа членов Иностранного Дипломатического Корпуса и Иностранных Консулов в СССР" от 10-го февраля с/г. ясно говорится: "Грузы, ручной и тяжелый багаж, следующие при лицах, возглавляющих иностранные Консульства в СССР /генеральные консулы, консулы и вице-консулы/ и при членах их семей при прохождении через таможенные учреждения Союза ССР, освобождаются от таможенного досмотра...".

Примечания к ст.

аналогичное же правило имеет место в ст. 1 приводимых Правил.

Уведомляя Вас об этом имею честь просить Вашего любезного содействия к тому, весь груз, прибывший с г-жей Коянаги был выпущен из Таможни без досмотра.

Прошу принять уверение в моем совершенном к Вам уважении.

В.и.д. Японского Генерального Консула
Sakabe

M-0537

0420

ニ向ヒ國內法ノ許容スル範圍内ニ於テ携行者
ニ對シ便宜ヲ供與センコトヲ求ムルモノナルヲ以
テ假令在本邦「ソグイエ」大使ヲシテ其ノ發給
スル「レツヤ」パスポートニ無税通關方ヲ希望スル文言
ヲ附加セシムルモノ「聯邦官憲ハ國內法ニ於テ
無税通關ヲ認メサル限り之ニ服スルノ義務
ナク從テ「レ」タル效果ナカルヘキヤニ思考ス他

公 信 案

外 務 省

方書記生ノ旅券ニ外交査證ヲ取付クルコトハ
自國書記生ニ外交旅券ヲ發給セサルコトヲ理
由トシ之ヲ拒絕シ来リタル「ソグイエ」聯邦側從來
ノ建前ニ照シ望無カルヘク「ソ」側ニ於テ之ヲ承
諾スルコトアリトスルモ相互條件ノ下ニ非サレハ
承諾セサルヘク而シテ本邦南税率法ニ依レハ
領事並領事館員ニ對シテハ無税通關ノ

公 信 案

外 務 省

M-0537

0421

特典ヲ其ヘ居ラサルニ付右南稅定率法ノ改正ヲ
見サル以上相互條件ノ下ニ外交査證方ノ取
極ヲ驚スモ無稅通南ノ南スル限リ依然困難
存スル次第ニ付目下折角實質的ニ無稅
通南ノ實ヲ擧テ(キ他ノ適當ナル方法ヲ考案
中ナルニ付右ニ却了知相成度此段申進ス

文書課發送		昭和六年八月拾七日發送濟		淨書		(起草昭和		年 月 日)	
主 管	主 任	歌米局長				第一課		主 任	
機密 第一	號	昭和一		年		月		日	
受 信 在 亞 港		昭和六年八月拾日 附		附 屬 書		通			
人 名	發 信	幣 京 大 臣							
件 名	綴 込 名								
件名「レツセハツヤ」ノ效力ニ南スル件									
月日附									
本件ニ南ニ在オハ下村分館主任宛第一三號ノ寫									
御參考ノ為茲ニ送付ス									
(昭和六年八月拾日 日附) 〇ハ宛第一三號ノ子添付ノト									
別紙 (原議用紙甲)ナ									

文書課長 公 信 案



文書課長 葉京
公 信 案

文書課發送 昭和六年八月拾七日發送済

淨書

正(原稿)

(淨書)

(甲號用紙)

主 管 歐米局長 第一課長 夏

主 任 第一課長 夏

年 月 日

歐一機密第一九五號 大正

昭和六年八月拾七日

附

附屬書 通

受信 在「ソ」聯邦 廣田大使

人名

發信 幣原大臣

前
人事課
通ある
文書課
印

件名 在「ソ」聯邦帝國領事館並ニ同館員ニ對スル「ソ」聯邦關稅免除方ニ關スル件

名 込 達 幣原大臣
通關手續

從來在本邦「ソ」聯邦官憲ハ同聯邦ニ於テ自國書記生ニ對シ外交旅

券ヲ發給セサルコトヲ理由トシ同聯邦ニ赴任スル我書記生ニ對シ外

交査證ヲ與ヘサル爲自身攜帶ノ荷物ニ對シテモ無稅通關ヲ要求スル

公 信 案

外 務 省

(原議用紙乙)

ヲ得ヌ又在本邦「ソ」聯邦大使發給ノ「レ」ツセー、パツセー」ヲ

所持スル場合ニ於テモ「ソ」聯邦官憲ハ必スシモ無稅通關ヲ許容セ

サル爲物資缺乏ノ同聯邦ニ赴任スル我書記生ハ多大ノ不便ヲ感シ居

ル次第ナル處之カ對策トシ「ソ」聯邦側ヲシテ我書記生ニ對シ外交

査證ヲ與ヘシムルコト一策ナルヘキモ右ハ自然之ヲ相互條件ノ下ニ

爲スヲ要スヘク而シテ本邦關稅定率法ニ依レハ領事並ニ領事館員ニ

對シテハ無稅通關ノ特典ヲ與ヘ居ラサルニ付右關稅定率法改正ヲ

外 務 省

3.2

13 50

M-0537

0423

見サレ以上) 相互條件ノ下ニ此ノ種取極ヲ爲ス(モ多額通関ノ爲スル限リ) 難ナルハ其ノ
 一策ナルヘキモ「レツセー、パツセー」ハ在外外交機關ニ於テ自國
 地方官憲ニ對シ國內法ノ許ス範圍内ニ於テ出來得ル限りノ便宜供與
 方ヲ依頼スル性質ノモノナル以上縱令「レツセー、パツセー」ニ無
 税通關ノ旨記載セシムルモ必スシモ其ノ效果ナカルヘク旁々本件ハ
 之ヲ別個ノ方法ニ依リ實質的ニ同一ノ效果ヲ得セシムルノ外ナシ然

(原議用紙乙)ナ

外務省

ルニ在本邦「ソヴイェト」聯邦官憲ニ於テハ同聯邦大使ニ於テ右ノ
 中一通ヲ各地ノ自國領事館ニ使用セシメ居ルニ付テハ貴官ニ於テ特
 ニ不便ヲ感セラルルコトナキ於テハ同様ノ方法ニ依リ貴官ノ有セ
 ラル關稅免除額ノ一部ヲ「ソヴイェト」聯邦各地ノ帝國領事館ニ
 モ使用セシムルコトヲ得ハ多大ノ便宜ヲ得ヘキヤニ思料セラルル處
 右果シテ可能ナルヘキヤ貴見何分ノ儀御回示相成度此段申進ス

(原議用紙乙)ナ

外務省

M-0537

0424

陸米局

機密公第四三二二號

昭和六年拾月廿七日接

昭和六年十月八日
別紙寫乙号

在「ソウイェト」聯邦

特命全權大使 廣田 弘毅



外務大臣掛 幣原 喜重郎 殿

外務大臣宛 電信 (十月八日附機密公第四三二二号)

在「ソ」聯邦帝國領事館並ニ同館員ニ對スル
「ソ」聯邦關稅免除方ノ件

本件ニ關シ八月十三日附歐一機密第一九五號ヲ以テ御申越ノ趣敬承
本使免稅額利用方ニ付過般本省ヲ通シ初メテ申越アリタル在亞港總
領事館ノ如キハ別トシ從來當方ニ於テハ地方ニ於ケル我在「ソ」領
事館及館員ノ物資入手上ノ困難ニ鑑ミ所要輸入物資ノ關稅免除ニ付

(分類 2.6.0.2-1)

BII

テハ依頼越ノ都度十分便宜ヲ供與シ今日迄嘗テ其ノ申出免稅額ニ
制限ヲ加ヘタルコトナク何レモ全部申出通り之ヲ本使免稅額ヨリ控除
シ無稅通關ノ手續ヲ執リタル(本年度分トシテ現在マテニ控除シタル
額ハ「オハ」分館一萬六千九百餘留(客年度輸入分)、浦潮總領事館
五千留(本年度分)、「オデツサ」領事館四千留餘、武市領事館及亞
港總領事館ノ分ニ付テハ稅關ヨリ未タ稅額ノ通知ナキヲ以テ不明ナル
カ武市領事館ノ分ハ少額ナルモ亞港總領事館ノ分ハ少クトモ八、九千
留ニ上ル見込ナリ)次第ニシテ今後トモ各領事館及館員ノミノ必要ナ
ル輸入品ノ免稅ニ關シテハ當方ノ事情ノ許ス限り無稅通關方取計フヘ
キ考ナルモ本年度(來年六月末迄)免稅額六萬留ハ既ニ大部分使用シ
盡シ今後ノ免稅超過額ニ對スル無稅通關ニ付テハ外務部ノ諒解ヲ得居
レルモ右トテモ無制限ナル免稅ヲ認メラレタル次第ニアラスシテ單ニ
繰越ノ形式ヲ執リ居ルニ過キササルヲ以テ將來我在「ソ」各領事館ニ於
テ所要物資ノ關稅免除ニ關シ本使ノ免稅額利用方希望ノ場合ニハ其ノ
都度輸入物資ノ注文前成ルヘク早日ニ輸入品名、數量及稅額(至急)

M-0537

0425

括弧内削除

場合ニハ主要ナル品名及豫想税額ヲ申出ツルコトトシ右關稅額ニ付テハ當方ノ都合ト各領事館トノ振合ヲモ考慮シ本使免稅額ヨリノ利用額ヲ決定シタル上「ソ」側關係官憲ニ對シ右利用額ヲ免稅額ヨリ控除方ノ手續ヲ執ル様取計ヒ各領事館ニアリテハ右手續ヲ經タル旨ノ當方ヨリノ回答ヲ俟ツテ初メテ輸入スル様致度ニ付右様御承知相成度尙右手續ハ大体從來ヨリ當館ト各領事館トノ間ニ於テ實行セラレ居ル次第ナルニ付爲念申添フ

追テ本使免稅額ヲ利用シ各領事館及館員ノ輸入物資ノ關稅免除ニ關シテハ「ソ」側ニ要求スルノ必要ヲ生スヘキコトト思考セラルル處本件カ相互主義ナル關係上右免稅額ノ引上ニ付テハ自然在東京「ソ」聯邦大使ニ對スル免稅額ノ増加承認問題ヲ發生スヘキニ付右ノ點豫メ御考究置相煩度シ

人事課
通商局
B
分類 M2.6.0.2-1

文書課長
昭七年十月廿日 發送
主 歐米局長
主 第一課長
受信 浦潮、亞港、哈府各總領事
武市「ソ」オシビルスク「オ」オテツサ各領事
人名「オハ」分館主任

在「ソ」聯邦帝國領事館並ニ同館
件名員ニ對スル「ソ」聯邦關稅免除方
ニ關スル件

本件ニ關シ曩ニ別紙寫甲號ノ通在「ソ」聯邦廣田大使ニ申進シ置キ
タル處今般同大使ヨリ別紙寫乙號ノ通回答越シタルニ付爲御參考右
茲ニ送付ス

公 信 案

別紙

淨書 (原稿) 附屬書 通

昭七年十月廿八日 附

幣原外務大臣

經外務大臣及館長不特統同傳
込 通商局

3.2

M-0537

0426

之ヲ相互條件ノ下ニ爲スヲ要スヘク而シテ本邦關稅定率法ニ依レハ
領事竝ニ領事館員ニ對シテハ無稅通關ノ特典ヲ與ヘ居ラサルニ付右
關稅定率法ノ改正ヲ見サル以上相互條件ノ下ニ此ノ種取極ヲ爲スモ
無稅通關ノ關スル限り困難絶無トナル次第ニハ非ス而シテ「レツセ
ー、パツセー」ニ特ニ無稅通關ノ旨記載セシムルコトモ亦一策ナル
ヘキモ「レツセー、パツセー」ハ在外交機關ニ於テ自國地方官憲
ニ對シ國內法ノ許ス範圍内ニ於テ出來得ル限りノ便宜供與方ヲ依頼
スル性質ノモノナル以上縱令「レツセー、パツセー」ニ無稅通關ノ
旨記載セシムルモ必スシモ其ノ效果ナカルヘク旁々本件ハ之ヲ別個
ノ方法ニ依リ實質的ニ同一ノ效果ヲ得セシムルノ外ナシ然ルニ在本
邦「ソヴェト」聯邦官憲ニ在リテハ同聯邦大使ニ於テ關稅免除額

は(下)

記載通帳ニ通ノ交付ヲ受ケ右ノ中一通ヲ各地ノ自國領事館ニ使用セ
シメ居ルニ付テハ貴官ニ於テ特ニ不便ヲ感セララルコトナクハ同様
ノ方法ニ依リ貴官ノ有セラルル關稅免除額ノ一部ヲ「ソヴェト」
聯邦各地ノ帝國領事館ニモ利用セシムルコトヲ得ハ多大ノ便宜ヲ得
ヘキヤニ思料セララルル處右果シテ可能ナルヘキヤ貴見何分ノ儀御回
示相成度此段申進ス

は(上)

M-0537

0428

原書
E3404
各國稅関各條桂
件

分類 M2.6.02-1

發電昭和六年八月三十一日

(在亞港總領事館用及館員用物資輸入方ニ關スル件)
在「ソヴィエト」聯邦廣田大使 幣原大臣

暗第二五六號

在亞港新居事務代理ヨリ同地物資ノ缺乏益々甚タシク且最近稅關其
他ノ關係上土威ヨリ物資ヲ購入スルハ同館並會社側共不便且危惧ヲ
感スルニ至レルヲ以テ向フ一年分宴會用並ニ館員用トシテ物資約七
百六十圓(内酒類百六十圓)ヲ内地ヨリ購入シタク右ニ對スル關稅
ハ出來得レハ貴使ノ免稅額中ヨリ控除ヲ得度キ旨電報越タル處貴方
御都合回電アリ度シ

外務省

手記
亞細亞の物資輸入
件

人事課

新聞局

條約局

M2.6.02-11

歐米局

機密第三三三號

昭和八年九月二十一日

在浦潮斯德總領事館

事務代理 坂部源吾



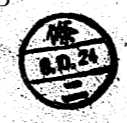
外務大臣 廣田弘毅 殿

外國領事館ノ家族携行荷物通關ニ關スル當地稅關ノ
不法取扱振ニ關スル件

本件ニ關シテハ客月十五日附機密第二八四號拙信ヲ以テ委曲報告シ
置キタル所昨二十日本官當地稅關長代理「ワフローム」ニ面接ノ
機會ヲ得タルヲ以テ本件ニ言及シ其ノ後哈府ヨリ何等カ申越ノ次第

在浦潮日本總領事館

昭和八年拾月七日 接受



M-0537

0429

寫送先

會文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

大臣
次官

電信課長

(分類 M2.6.012-1)

昭和6 一五七八二 暗 亞港 十月十三日後着 歐一
幣原外務大臣 佐々木總領事

第一二〇號

老虎丸欄坐後船底ヨリ浸水シ本官携行手荷物モ之カ爲ニ損害ヲ蒙リ
館員ヨリ依頼ヲ受ケタル食料品中ニハ食用ニ耐ヘサルモノアルニ至
リタリ就テハ最終運炭船ニテ歸亞ノ筈ナル新居書記生妻ニ依頼シ更
ニ館員用食料品ヲ本邦ニテ購入ノ上携行セシムルコトト致シタシ尙
館員用食料品ニ對シテハ本官携行手荷物カ海難ニ依リ破損セシヲ補
充ストノ理由ニテ特ニ在本邦蘇聯邦大使館ヲシテ「レセハバツセ」
ヲ發行セシメ免稅輸入シ得ル様御配慮相願ハレ間敷哉 夫々手配ノ都

外務省

記録係 外務省 佐々木總領事

アリタルヤト質シタル所彼ハ最近哈府極東税關支部ヨリ外交官、領
事官ノ家族カ別箇ニ來リタル時ト雖モ無檢査通關ノ特權ヲ有スル旨
通報ニ接シ本件ノ解釋明トナリタルヲ以テ今後誤解ノ起ルコトナカ
ルヘシト應答セリ

依テ本件ハ右ニテ落着シタルモノト認メラル

右御參考ノ爲報告ス

本信寫送付先 在「ソヴェエト」聯邦大使

在「ハバロフスク」總領事館事務代理

在浦潮日本總領事館

M-0537

0430

分類 M2.6.02-1

電送第 12090 號

昭和 6年 10月 15日 午前 9時 0分 發

電 信 案	外 務 省	件	主 管	宛	平 暗
		佐々木總領事海軍補充品件	主 任 歐米局長	在「アレクサンドリア」 佐々木總領事	第 四 四 號
書面ヲ附シ荷島通関方取計ツヘキ旨		綴外事務官 佐々木總領事	起草昭和六年十月十四日 12090	貴電第一二〇號、同シ	
貴總領事補充品目数量ヲ示サレハ之ニ		發 中 外 務 大 臣		ワセシテ新居夫人ニ送給スルハ具在 思シキモ	
用トシテ					

電信課長 齋藤

電信案

(原議用紙甲)ナ

合アルニ付何分ノ儀至急御回電ヲ請フ

外 務 省

M-0537

0431

電信案

外務省

若アリ 結ハ 右高日数量 由電カキリト
 引續キレハルツセ 下午方力中ナル 右入午不能
 (貴電第一二一号ニ依リ)
 坊名ニシテ 新右夫人 提出品目数量ニ 備付
 紙ハ 宛ヲ 掲ノ一キ 依 右 様 迄 送 附 知 付 リ タシ

(原議用紙乙)

M-0537

0432

秘

電信寫

昭和6

暗 亞港 本省

十月十三日後着

歐一

幣原外務大臣

佐々木總領事

第一二〇號

老虎丸欄坐後船底ヨリ浸水シ本官携行手荷物モ之カ爲ニ損害ヲ蒙リ
 館員ヨリ依頼ヲ受ケタル食料品中ニハ食用ニ耐ヘサルモノアルニ至
 リタリ就テハ最終運炭船ニテ歸亞ノ筈ナル新居書記生妻ニ依頼シ更
 ニ館員用食料品ヲ本邦ニテ購入ノ上携行セシムルコト致シタシ尙
 館員用食料品ニ對シテハ本官携行手荷物カ海難ニ依リ破損セシマ補
 充ストノ理由ニテ特ニ在本邦蘇聯邦大使館ヲシテ「レセバツセ」
 ヲ發行セシメ免稅輸入シ得ル様御配慮相願ハレ間敷哉夫々手配ノ都
 合アルニ付何分ノ儀至急御回電ヲ請フ

十月十三日午後着
 暗 亞港 本省
 佐々木總領事

M-0537

0433

(分類 M26.0.2-1)

機密公第一九號

昭和八年三月四日

第一號

在オデッサ

領事 田中文一



外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

一ソ一 聯邦當局ノ外國領事館ノ食料輸入品ニ對スル態度ニ關スル件

外國領事館カ當地稅關ヲ經テ食料品ヲ輸入シ右ニ對スル關稅ヲ當該國大公使ニ供與セラレタル免稅額ノ計算ニテ支辨セントスル場合ニハ別紙書式ノ誓約書提出ヲ要スル旨ヲ以テ今般當地外務交渉部ヨリ別紙寫ノ通り當館ニ通知アリタリ

在オデッサ日本帝國領事館

昭和八年四月五日 接受

Handwritten notes and signatures in Japanese, including '外務省' and '領事'.

當地稅關ニ於テハ客年十二月某國領事館ニテ輸入食料品關稅支拂ニ關シ大使免稅額ヲ濫用シ誤解アリタル爲メ右免稅額ノ計算ニ依ル支辨ハ當該國大公使ノ支辨許可書ヲ徵スルコト、シ當館輸入ノ食料品ニ對スル關稅支拂ノ際ニモ右許可證ヲ要求シタルコトアリ當地獨逸領事館モ同様右許可證ヲ提出シ居リシ由ナリ
今回ノ外務交渉部通牒記載ノ本件誓約書書式設定理由ノ事實ニ關シ本官ハ當地外務交渉員「ガイリユンスキイ」ト宴會ニテ會合ノ際如何ナル國ノ領事館ト如何ナル誤解アリシヤヲ尋ネタル處同氏ハ當地領事館ニハ非スト回答ヲ回避シタリ
一ソ一 聯邦當局カ各國領事館ニ對シ本件書式ノ統一ヲ圖ラントセルコトハ諒トスヘキモ領事官ニ對シ期限ヲ附シタル誓約書ノ形式ヲ要

在オデッサ日本帝國領事館

M-0537

0434

ОБЯЗАТЕЛЬСТВО

乙
辨
寫

Нижеподписавшиеся/название страны/ Консул в /город/ получил от Одесской таможни сего числа продовольственный груз, ввозная пошлина за который исчислена в суммеруб...коп., и обязуется уплатить указанную сумму наличными, если в течение 3-х месяцев от сего числа.....Посольство/Миссия/ не уведомит в установленном порядке через НКВД Главное Таможенное Управление о своем согласии на принятие таковой пошлины в счет представленных г...../название страны/.....Послу/Посланнику/ уступочных пошлин.

/ город, число/

ПОДПИСЬ

печать Консульства

求シ公信又ハ其他ノ形式ノ約束ヲ排除シ商社ト同一視セルカ如キ態
度ハ國際慣習ト禮讓トヲ無視セルモノニシテ既ニ食料品輸入其モノ
カーソウエトノ制度ニ於テ必要ナル當局ノ援助ヲ拒絕セル結果發
生セル現象ナルニ又斯ノ如キ要求ヲナスハ益々無禮ナル措置ナリト
認ム

右報告申進ス

本信寫送付先

在露大使、浦潮總領事

在オデッサ日本帝國領事館

M-0537

0435

甲辨
寫

25-го Февраля 1933 г.

№ 23.

В Японское Консульство

в Одессе.

В виду того, что за последнее время имели место случаи недоразумений с пропуском местной Таможенной продовольственных грузов для иностранных консульств, в связи с представлением последними различных форм обязательств, Дипломатическое Агентство Народного Комиссариата по Иностранным Делах в Одессе имеет честь сообщить, что Главным Таможенным Управлением выработана единая форма такого рода обязательств, экземпляр коей при сем препровождается причем какие бы то ни было изменения указанной формы не допускаются.

Одновременно Дипломатическое Агентство сообщает, что моментом, погашающим выданное Консульством обязательство, считается дата отправки ноты Посольством Народному Комиссариату по Иностранным Делах о принятии причитающейся с Консульства пошлины на таможенную книжку Посольства.

Приложение: упомянутое.

Дипломатический Агент НКВД СССР

/ подпись/

甲辨
譯文

一九三三年二月二十五日

第二三號

在オデッサ日本領事館 御中

在オデッサ外務交渉部ハ外國領事館ノ提出ニ係ル誓約書形式ノ不
同ナル爲メ外國領事館用食料品ノ當地稅關通關ニ關シ最近誤解ア
リタルニ付稅關本廳ニ於テ同封雜型ノ如キ此種誓約書ノ單一書式
ヲ作成シ右書式ノ變更ハ如何ナルモノト雖モ許容セラレサルコト
ヲ通知スルノ光榮ヲ有ス
同時ニ外務交渉部ハ領事館ノ右誓約消滅ノ時期ハ領事館ノ支拂フ
ヘキ關稅額ヲ大使館ノ關稅帳記入承認ニ關スル大使館ノ外務人民
委員部宛「ノート」發送ノ日トスル旨通知ス

在オデッサ日本帝國領事館

M-0537

0436

乙種譯文

譯文

誓約書

下記署名ノ在、、、(都市名)、(國名)、領事ハ本日「
オデッサ」税關ヨリ食料品貨物ヲ受領シ右輸入關稅額、、、留、
、哥ハ本日ヨリ三ヶ月以内ニ、、大使館(公使館)ニ於テ當該
關稅額ヲ、、(國名)、大使(公使)ニ供與セラレタル免稅
額ノ勘定ニ算入スヘキ旨ノ承認ノ意ヲ所定手續ニ依リ外務人民委員
部ヲ經テ税關本廳ニ通知セサル場合ニ於テハ前記金額ヲ現金ニテ支
拂フヘキモノナリ

年 月 日 市 名

署 名

館 印

在オデッサ日本帝國領事館

附屬物 前記

「ソ」聯邦外務人民委員部外務交渉員

ガイリユンスキイ(署名)

在オデッサ日本帝國領事館

M-0537

0437

郵便局

昭和八年五月廿四日接受
郵便局

公葉四三號

昭和八年四月十八日

在ノゾオシビルスタク

領事代理大谷シ郎



外務大臣昭壽内田康哉殿

公信為送付ノ件

昭和八年四月十八日付在ノゾオシビルスタク領事代理大谷シ郎公葉四三號公信為送付

件名

領事級公用品ニ對スル関稅免除方ニ因ル件

修訂局

逓信局

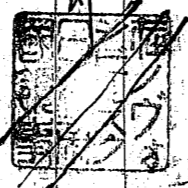
寫

公葉四三號

昭和八年四月十八日

在ノゾオシビルスタク

領事代理大谷シ郎



在ノゾオシビルスタク

特命全權大使大谷シ郎殿

領事級公用品ニ對スル関稅免除方ニ因ル件

最ニ當館ハ封筒ハ書翰紙ヲ東京ニ送付シ好便ニ
此ニ送付方依頼シ置キタル処、本館ヨリ購送品ハ三
月二十五日小包郵便トシテ送付セル旨通牒ニ據ヒリ
越シテ四月二十五日當地郵便局ヨリ當館宛代金引

CH

CH

M-0537

0438

税小口郵便物納付の滞着を以て付受取方通告アリ
タル付所要代金滞貨四百五十圓支拂、上之ヲ引
取リタル処、該荷物ハ前掲封鎖筒ナルト判明セルヲ以テ
直ニ郵便局ニ對シ徵收料金ハ何ヲ意味スルヤ問合
セラルン、右ハ封鎖ニ對スル関稅取立ヲ方依頼ニ基キ
モイリトテ同稅關作製ノ一九三三年三月十五日付関
稅徵收明細表第××號 (Soekampobal pormus No 42
30 no Niponia 1933a.) ト別添、如キ東京郵便局送付シ
税關申出書ヲ當方ノ閱覽ニ供シタリ、依テ從來ノ慣習
ニ依リ高價ノ大房具ハ關稅ノ賦課ヲ免除セラルベキニ
シテ税金徵收ハ不當ナリト聲明シラルル果斷ノ申出ハ直
接納付稅關ニ申出テラレリ、當地駐逸領事館ノ先例
ニ依リ在リテ大使ノ關稅免除ノ特權ヲ利用セラル、

CII

カノ方法ニ依リ解決ヲ俟ツノ外道ナシト回答セリ、查ナルニ
右遺物ハ申出書ニ明記ノ領事館名宛ナルヲ明ネシマリ、
若シ納付稅關ニ於テ慣習ヲ重ンズルニ於テハ當然關稅
ヲ免除スベキト思惟サル、モ我國トソノ解釋尙シハ未
ダ決逸ノ如キ領事條約ノ締結イテ為原則トシテ領事
館用品ニ對シ關稅免除ノ特權ヲ認メザルニ至義ニ至
テ遠關ノ際大使ノ免稅額ハ計算ナル様子ヲ申出テ
ヤリシ為メ法規通りノ關稅ヲ適用シタルモトト解セラレ、
當方ヨリ直接納付稅關ニ交渉スルニ同様ノ解釈ニ立
チテ回答シ来ラレ、税金回収上ノ手續ハ更ニ煩ク加フベキ
ニ就テ斷然中甚ダ悲觀ナカラ當般公用品ニ對ス
ル關稅ノ大使ノ免稅額ニ依リ徵收料金滞
貨四百五十圓留也御回收相成豫貴地稅關本部

CII

M-0537

0439

要

郵

(分類 M2.6.0.2-1)

通商局
條約局

文書課長 (富井) 文書課發送 昭和八年五月廿壹日發送済 淨書 正校(原稿) (淨書) 昭和八年五月 日起草	主 歐米局長 任 第一課	主 歐米局長 任 第一課	歐一普通第 七六 號 昭和 八年五月廿壹日 附屬	受 大花者 信 中嶋主税局長	名 人 信 發 東郷欧米局長	名 件 録 記 原簿 分文友領ノ友物取寄 通商局係	名 件 在 此 縣 邦 帝 子 領 事 館 公 用 品 二 對 スル 関 税 附 加 方 二 関 本 件 二 關 シ 今 般 在 外 務 省 大 臣 官 署 代 理 ヲ リ 別 紙 寫 ノ 通 報 告 ア リ タ ル ニ 付 爲 御 參 考 右 茲 ニ 送 付 ス	本 信 寫 送 付 先 (昭和八年 四月十八日附在ノ外務省館來ノ電) 普通第廿三 號寫並附屬書寫)	公 信 案 外 務 省
	本信寫送付先 (昭和八年 四月十八日附在ノ外務省館來ノ電) 普通第廿三 號寫並附屬書寫)								

31 26

條 8.6.1

別紙

御交済方相煩度此致御依頼申進ス

CII

M-0537

0440

移
大蔵
人
多
理

條約局

歐米第一三八號

第一編

昭和八年四月二十八日

在「ソヴィエト」聯邦

特命全權大使 大田 爲



外務大臣伯爵 内田 康 哉 殿

「ソ」聯邦駐在外交官領事官ノ貨物及手荷物
通關規則送付ノ件

本件ニ關シ別紙ノ通外務人民委員部ヨリ通知アリタルニ付邦譯文相
添へ茲ニ進達ス就テハ右御査閱ノ上本規則ニ關シ先方へ何等申入ル
へキ義アルニ於テハ折返シ御回示相煩度此段申進ス

在ソヴィエト聯邦日本大使館

昭和八年五月廿日 別紙添附 接受

(譯文)

П. Р. 第一四八號

一九三三年四月九日

在莫斯科 外務人民委員部

在莫斯科 日本大使館 御中

外務人民委員部ハ茲ニ在「ソ」聯邦外國外交團員及外國領事官ノ貨
物及手荷物通關規程ヲ送付スルノ光榮ヲ有ス

在ソヴィエト聯邦日本大使館

M-0537

0441

(一九三三年二月二十一日)

「ソヴィエト」聯邦外國貿易人民委員部稅關本部命令

第 一 九 號

莫斯科 一九三三年二月十六日

内容、在「ソヴィエト」聯邦外國外交團員及外國領事官ノ貨物及手荷物通關規程ノ發布

茲ニ在「ソヴィエト」聯邦外國外交團及外國領事官ノ貨物及手荷物通關規程ヲ公布シ之ヲ施行セシム

一九二九年九月十三日附〇. 第一九七號及一九三一年十月十九日附〇. 第一三二號稅關本部命令ハ之ヲ廢止ス
附屬別紙ノ通り

稅關本部長 ルーテンベルグ
事務係長 チエルノブイルスキ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

「ソ」聯邦駐在外交團々員及外國領事官ノ貨物及手荷物通關規則

第一「ソ」聯邦駐在外交團々員及「レーセ、パツセー」所持者ト同行スル貨物及手荷物並右ノ者及「ソ」聯邦内外國大使館ニ送ラルル貨物及手荷物

「ソヴィエト」聯邦政府ニ派遣セラレタル外交代表者、「ソ」聯邦ニ於ケル外交團々員並「レーセ、パツセー」所持者ト同行スル貨物及重キ手荷物ハ「ソ」聯邦稅關官署通過ニ際シ出入共ニ稅關檢査ヲ免セララル

但シ特ニ例外の場合ニアツテハ右ノ者ノ貨物及重私用ノ重キ手荷物ハ例外的措置トシテ其ノ都度稅關本部ノ特別ノ指令ニ基ツキ檢査セララルコトアルヘシ、前記ノ貨物及私用ノ重キ手荷物ノ檢査ハ關係者ノ希望ニモ從ヒ莫斯科稅關ニテ行フコトヲ得ヘシ
備考、「ソ」聯邦政府ニ派遣セラレタル外交代表者トハ大使、公使、及同代理者ヲ指シ「ソ」聯邦ニ於ケル外交團々員ト

在ソヴィエト聯邦日本大使館

ハ大公使館參事官、一等、二等及三等書記官、官補、商務參事官及書記官、陸海軍武職官及同輔佐官並ニ此等ノ者家族ヲ指ス

ニ「ソ」聯邦ニ於ケル外國ノ外交代表者、外交團々員並ニ外國大使館宛ニ其ノ所有者ト別個ニ送ラルル貨物及手荷物ハ莫斯科稅關ニ於テ檢査セラシテ付定メラレタル手續ニ從ヒ國境稅關ヨリ其ノ稅關ハ小包ノ輸送ニ付定メラレタル手續ニ從ヒ國境稅關ヨリ其ノ稅關保障ヲ施シテ莫斯科稅關ニ送ラルルモノトス

此ノ場合
ハ外國ノ外交代表者宛ニ送ラルル貨物及手荷物ハ本規則第三項ニ規定スル範圍内ニ於テ關稅ヲ免除セララル

ハ其ノ他ノ在「ソ」聯邦外交團々員或ハ外國公館宛ニ送ラルル貨物及手荷物ハ一般稅關規則及關稅率ニ依リ關稅其ノ他ノ手數料ヲ課セララルヘシ

備考、外交機關ノ職務上必要ナル刻印、印章、旂形門札、事

在ソヴィエト聯邦日本大使館

務所用帖簿、公文用紙、門札及國旗並ニ外交代表者及其ノ他ノ外交團々員ノ禮服ハ無稅ニテ無制限ニ運關セシム
ニ本規則第二項ハ貨物及手荷物ニ對スル免稅額ハ外國貿易人民委員部カ毎年定ムル特別ノ決定ニ依リテ定マル此等貨物及手荷物ノ通關ハ右免稅額及使用期限ヲ記載セル特定ノ免稅控帳ニ依リテ之ヲ行フ

備考、本規則第二項ハ依リ引渡サルル貨物及手荷物ニ對シテハ倉庫稅及從量稅ヲ徵收セス運搬人手數料ハ稅關本部ノ確認セル率ニ基ツキ實費ヲ徵收ス

四 本規則第三項ノ免稅控帳ハ儀禮部ヨリ稅關本部ニ送附スル表ニ從ヒ外務人民委員部ヨリ外國ノ外交代表者ニ發給セララル免稅控帳ハ其ノ利用程度ニ關係ナク之ニ記載シアル期限内ニ於テ有效トス
檢査濟ノ物品ニ對シ其ノ都度課セラレタル關稅額ハ莫斯科稅關ニ於テ一定ノ帳簿並免稅控帳ニ記入シ免稅額ノ殘高ヲ明ラカニス
五 「ソ」聯邦ニ於ケル外交團々員カ最初ニ「ソ」聯邦ニ到着セル際

在ソヴィエト聯邦日本大使館

右ノ者宛ニ（之ト別個ニ）到着スル所謂「着任當初ノ必需品」即チ室内裝飾品、衣類、家財道具、樂器、食器、食卓用布、運動具及文化的必需品ハ検査ノ上其ノ都度税關本部ノ特別ノ許可ニ依リ無税ニテ之ヲ通關セシムルコトヲ得ヘシ

六 在「ソ」外國外交代表者及外交團々員ノ出國ニ際シ之等所有主ト別個ニ送ラルル右ノ者ノ貨物及手荷物ハ莫斯科税關建物内ニ於テ若クハ發送者ノ希望ニ依リ其ノ自宅ニ於テ検査ヲ受クルヲ要ス外國ノ外交代表者及外交團々員ノ最後ノ出國ニ際シ右ノ者ト別個ニ送ラルル貨物及手荷物ハ關稅及本規則第三項備考ニ掲クル諸稅ヲ課セラルルコトナク右ノ者カ事實上「ソ」聯邦ヲ出國シタル日ヨリ六箇月以内ニ限り「ソ」聯邦税關官署ヲ通過ズルコトヲ得ヘシ

第七 「ソ」聯邦駐在外國領事館々長ト同行スル貨物及手荷物

並右ノ者宛ニ送ラルル貨物及手荷物

セ 「ソ」聯邦ニ於ケル外國領事館ノ館長（總領事、領事及副領事）

在ソヴィエト聯邦日本大使館

及其ノ家族ノ携行スル貨物及重キ手荷物ハ右ノ者ノ出入國ニ際シ「ソ」聯邦税關ノ検査ヲ免カル

但シ個々ノ場合ニ於テ右ノ者ノ貨物及手荷物カ其ノ都度税關本部ノ特別ノ指令ニ基ツキ検査セラルル場合アルヘシ

八 新ニ開館セラルルカ又ハ既ニ存在スル外國領事館ノ館長宛ニ送ラルル貨物ハ検査ヲ受ケ且關稅ヲ課セラルヘシ但シ右貨物カ右ノ者ノ着任當初ノ必需品ナルトキハ其ノ都度税關本部ノ特別許可ニ依リ無税ニテ且當該國外交代表者ノ免稅控帳ニ記入スルコトナク之ヲ通關セシムヘシ

新開館ノ外國領事館宛ニ送ラルル貨物カ右領事館ノ開館必需品ナル場合其ノ都度税關本部ノ特別ノ指令ニ基ツキ検査後無税ニテ之ヲ通關セシム

着任當初ノ必需品トハ本規則第五項ニ記載セル物ヲ謂フ
備考、外國領事館ノ職務上必要ナル刻印、印章、帳簿、公文用紙、門札、楯狀門札及國旗並ニ外國領事官ノ禮服ハ無税ニ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

テ無制限ニ通關セシム

九 外國領事館ノ館長宛竝ニ領事館宛ニ送ラルル貨物ハ國境稅關ニ於テ一般規則ニ從ヒ檢査セラレ一般同様ノ關稅ヲ課セラル、右關稅ヲ當該國外交代表者ノ免稅控帳ニ算入スルコトハ特ニ定メラレタル方法ニ依ルモノトス

宛名者ノ希望ニ依リ右貨物ノ檢査ハ莫斯科、「ハリコフ」、「ミンスク」、「チフリリス」、「タシケント」及「ハバロフスク」ニテ之ヲ行フコトヲ得ヘシ

一〇 外國領事館ノ館長ノ出國ニ際シ所有者ト別個ニ送ラルル所有品ノ檢査ハ發送者ノ希望ニ依リ國境稅關又ハ港灣稅關ノ所在地竝ニ莫斯科、「ハリコフ」、「ミンスク」、「チフリリス」、「タシケント」及「ハバロフスク」ニアリテハ右ノ者ノ自宅ニ於テ之ヲ行フコトヲ得ヘシ

第三 一般注意事項

一 本規則第一項備考ニ掲ケタル者以外ノ外國大使館事務員及本

在ソヴェエト聯邦日本大使館

規則第七項記載以外ノ外國領事館職員（書記生、「アツタシエ」竝ニ右ノ者ノ家族ノ携帯スル手荷物ハ「ソ」聯邦出入國ノ際一般規定ニ依リ稅關所在地ヲ經テ之ヲ通關セシム但シ右ノ者カ現行關稅規則ニ定ムル旅客携帯品ノ制限數量以上ニ携行スル私用品及家庭用品ハ自用ノ範圍ヲ超エサル限り旅客規則ニ依リ無稅ニテ通關セシム

一 外國ヨリ貨物、手荷物或ハ小包カ外國大使館及領事館宛ニ到着シタル際ハ稅關ハ宛名者ニ對シ遲滯ナク右品物及附屬書類ニ關スル諸事項ヲ記シタル通知書ヲ發ス

一 本規則第十二項ノ品物ハ外國大使館及領事館ノ代表者ニ引渡ス右代表者ハ稅關ニ對シ貨物ノ送狀若クハ郵便通知書及右品物引渡方竝ニ右品物ニ對スル關稅ノ支拂方法ニ關スル宛名者ノ申告書ヲ提出スルヲ要ス

一 本規則第十二項ノ品物ノ檢査ハ受取人（第十三項）ノ出頭後順番ヲ待タスシテ直ニ之ヲ行フ若シ右品物ノ到着後二週間内ニ受取

在ソヴェエト聯邦日本大使館

人出頭セザルトキハ更ニ通知ヲ發ス若シ此ノ場合ニ於テモ宛名者
若クハ其ノ代表者出頭セザルトキハ税關長ノ文書ニ依ル命令ニ基
ツキ宛名者缺席ノ下ニ右品物ノ検査ヲ行フ

一五「ソ」聯邦ヘノ輸入禁制品若クハ「ソ」聯邦ヨリノ輸出禁制品
ヲ本規則第一、第二、第七及第八項ニ依リテ通關セシムル爲ニハ
外務人民委員部ヲ經テ其ノ都度税關本部ノ同意ヲ求ムルヲ要ス
貨物又ハ手荷物検査ノ際輸出入禁制品ニシテ其ノ輸出入ニ對シ前
記ノ同意アラサルモノヲ發見セル場合ニハ其ノ通關問題ハ現行税
關法令ニ基ツキ解決セラルルモノトス

一六貨物及手荷物検査ノ際輸入禁制品ニハ非ラサルモ其ノ數量ニ於
テ受取人自用ノ程度ヲ超過シ居ル物品發見セララルトキハ右物品
ノ通關問題ハ現行税關法令ニ基ツキ解決セラルルモノトス

一七特別ノ決定ニ依リ「ソ」聯邦ヨリノ輸出ヲ調整セラレ居ル物品
(樂器、古物及藝術品、絨繒、貴金屬及寶石細工品、毛皮等)ノ
輸入ニ當リテハ右物品ヲ通關セシムル税關ハ受取人ニ對シ該品ノ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

「ソ」聯邦ヘノ輸入ニ關スル證明書ヲ下附ス右證明書ニハ若シ所
有者カ之ヲ喪失スルトキハ前記ノ物品ニ對スル特典的輸出權ヲ喪
失スル旨ヲ記載ス

税關本部長 ルテンベルグ

事務係長 チヨルノビルスキ

一九三三年二月十日 莫斯科

右税關法第五十一條ニ基ツキ「ソ」聯邦財務人民委員部、
外務人民委員部及合同國家保安部ト合議ノ上確認ス

一九三三年二月十五日

外國貿易人民委員代理 ロガノフスキ

在ソヴィエト聯邦日本大使館

M-0537

0445